

ユーザー ガイド

AMD は、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。Bluetooth は、その所有者が所有する商標または登録商標であり、使用許諾に基づいて HP Inc.が使用しています。Intel、Celeron、Centrino、Pentium、および Thunderbolt は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation およびその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2016 年 9 月

製品番号：903112-291

製品についての注意事項

このユーザー ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

一部の機能は Windows の一部エディションまたはバージョンでは使用できません。システムで Windows の機能を最大限に活用するには、アップグレードされたハードウェアや別売のハードウェア、ドライバーやソフトウェア、または BIOS の更新が必要になる場合があります。Windows 10 は自動的に更新され、自動更新は常に有効になっています。更新中にプロバイダー料金がかかり追加要件が適用されたりすることがあります。<http://www.microsoft.com/> を参照してください。

お使いの製品の最新版のガイド等を確認するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして【製品の検索】を選択し、画面の説明に沿って操作します。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用することによって、お客様は HP EULA の条件に従うこととに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品（付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア）を 14 日以内に返品し、販売店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの代金の返金を要求する場合は、販売店に問い合わせてください。

安全に関するご注意

⚠ **警告！** 低温やけどをするおそれがありますので、ひざなどの体の上にコンピューターを置いて使用したり、肌に直接コンピューターが触れている状態で長時間使用したりしないでください。肌が敏感な方は特にご注意ください。また、コンピューターが過熱状態になるおそれがありますので、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターが過熱状態になると、やけどやコンピューターの損傷の原因になる可能性があります。コンピューターは、硬く水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、AC アダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよび AC アダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950-1) で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に適合しています。

プロセッサの構成設定（一部の製品のみ）

 **重要：**一部の製品のコンピューターは、インテル® Pentium® プロセッサ N35xx/N37xx シリーズまたはインテル Celeron® プロセッサ N28xx/N29xx/N30xx/N31xx シリーズおよび Windows® オペレーティングシステムで構成されています。お使いのコンピューターが説明のとおりに構成されている場合は、**msconfig.exe** で 4 または 2 に設定されているプロセッサの構成を、1 に変更しないでください。変更すると、コンピューターが再起動しなくなります。元の設定に戻すには、出荷時設定の復元が必要になります。

目次

1 ようこそ	1
情報の確認	2
2 各部の名称と機能概要	4
ハードウェアの確認	4
ソフトウェアの確認	4
右側面の各部	5
左側面の各部	7
ディスプレイの各部	9
表面の各部	10
タッチパッド	10
ランプ	11
ボタン、スピーカー、および指紋認証システム	12
特別なファンクションキー	14
ホットキーの使用	15
裏面の各部	16
ラベル	17
SIM カードの装着（一部の製品のみ）	18
SIM カードロック ヒンジコネクタ付きのコンピューター	18
SIM カードスロット付きのコンピューター	19
3 ネットワーク接続	20
無線ネットワークへの接続	20
無線コントロールの使用	20
無線ボタン	20
オペレーティングシステムの制御機能	21
無線 LAN への接続	21
HP モバイル ブロードバンドの使用（一部の製品および一部の国や地域のみ）	22
[HP Mobile Connect Pro]の使用（一部の製品のみ）	22
GPS の使用（一部の製品のみ）	22
Bluetooth 無線デバイスの使用（一部の製品のみ）	23
Bluetooth デバイスの接続	23
有線ネットワーク（LAN）への接続	24
ローカルエリアネットワーク（LAN）への接続（一部の製品のみ）	24

モデムの使用（一部の製品のみ）	24
モデムケーブルの接続	25
各国または地域仕様のモデムケーブルアダプターの接続	25
4 画面の操作	26
タッチパッドおよびタッチスクリーンジェスチャの使用	26
タップ	26
2本指ピンチズーム	27
2本指スクロール（タッチパッドのみ）	27
2本指タップ（タッチパッドのみ）	27
4本指タップ（タッチパッドのみ）	28
3本指swipe（タッチパッドのみ）	28
1本指スライド（タッチスクリーンのみ）	29
キーボードおよび別売のマウスの使用	29
内蔵テンキーの使用（一部の製品のみ）	29
5 エンターテインメント機能	30
Webカメラの使用（一部の製品のみ）	30
オーディオの使用	30
スピーカーの接続	30
ヘッドフォンの接続	30
ヘッドセットの接続	31
サウンド設定の使用	31
動画の視聴	32
VGAケーブルを使用したビデオデバイスの接続（一部の製品のみ）	32
HDMIケーブルを使用したビデオデバイスの接続（一部の製品のみ）	33
HDMIオーディオの設定	33
Miracast対応無線ディスプレイの検出および接続（一部の製品のみ）	34
6 電源の管理	35
コンピューターのシャットダウン	35
電源オプションの設定	35
省電力設定の使用	36
スリープの開始および終了	36
ユーザー起動の休止状態の開始および終了（一部の製品のみ）	36
電源メーターおよび電源設定の使用	37
復帰時のパスワード保護の設定	37
バッテリ電源の使用	37
バッテリに関する詳細情報の確認	38

[HP バッテリ チェック]の使用	38
バッテリ充電残量の表示	38
バッテリの放電時間の最長化	39
ローバッテリ状態への対処	39
ローバッテリ状態の確認	39
ローバッテリ状態の解決	39
バッテリの節電	39
バッテリの処分	40
バッテリの交換	40
外部電源の使用	40
7 セキュリティ	41
コンピューターの保護	41
パスワードの使用	42
Windows でのパスワードの設定	42
[Computer Setup]でのパスワードの設定	43
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の管理	43
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の入力	45
[Computer Setup]の DriveLock パスワードの管理 (一部の製品のみ)	45
DriveLock パスワードの設定	45
DriveLock の有効化 (一部の製品のみ)	46
DriveLock の無効化 (一部の製品のみ)	47
DriveLock パスワードの入力 (一部の製品のみ)	47
DriveLock パスワードの変更 (一部の製品のみ)	47
[Computer Setup]の自動 DriveLock の使用 (一部の製品のみ)	48
自動 DriveLock パスワードの入力 (一部の製品のみ)	48
自動 DriveLock による保護の解除 (一部の製品のみ)	49
ウィルス対策ソフトウェアの使用	49
ファイアウォールソフトウェアの使用	49
ソフトウェア更新プログラムのインストール	50
[HP Client Security]の使用 (一部の製品のみ)	50
[HP Touchpoint Manager]の使用 (一部の製品のみ)	50
別売のセキュリティロックケーブルの使用 (一部の製品のみ)	50
指紋認証システムの使用 (一部の製品のみ)	51
指紋認証システムの位置	51
8 メンテナンス	52
パフォーマンスの向上	52
[ディスク デフラグ]の使用	52

[ディスククリーンアップ]の使用	52
[HP 3D DriveGuard]の使用 (一部の製品のみ)	52
[HP 3D DriveGuard]の状態の確認	53
プログラムおよびドライバーの更新	53
コンピューターの清掃	53
清掃手順	54
ディスプレイの清掃	54
側面またはカバーの清掃	54
タッチパッド、キーボード、またはマウス (一部の製品のみ) の清掃	54
コンピューターの持ち運びまたは送付	55
9 バックアップおよび復元	56
リカバリメディアおよびバックアップの作成	56
[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアの作成 (一部の製品のみ)	57
Windows ツールの使用	58
復元	58
[HP Recovery Manager] (HP リカバリマネージャー) を使用した復元	59
開始する前に確認しておくべきこと	59
HP 復元用パーティションの使用 (一部の製品のみ)	60
[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを使用した復元	61
コンピューターのブート順序の変更	61
HP 復元用パーティションの削除 (一部の製品のみ)	62
10 [Computer Setup] (BIOS)、TPM、および[HP Sure Start]	63
[Computer Setup]の使用	63
[Computer Setup]の開始	63
[Computer Setup]での移動および選択	63
[Computer Setup]の工場出荷時設定の復元	64
BIOS の更新	64
BIOS のバージョンの確認	64
BIOS 更新プログラムのダウンロード	65
[f9]の画面を使用したブート順序の変更	66
TPM BIOS の設定 (一部の製品のみ)	66
[HP Sure Start]の使用 (一部の製品のみ)	66
11 [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の使用	67
[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の USB デバイスへのダウンロード	68

12 仕様	69
<input type="checkbox"/> 入力電源	69
<input type="checkbox"/> 動作環境	69
13 静電気対策	70
14 ユーザー サポート	71
<input type="checkbox"/> サポートされている支援技術	71
<input type="checkbox"/> HP のサポート窓口へのお問い合わせ	71
索引	72

1 ようこそ

最大限に活用するため、コンピューターのセットアップおよび登録が終了したら、以下の操作を行うことをおすすめします。

- **ヒント:** 開いているアプリケーションまたは Windows デスクトップからコンピューターのスタート画面にすばやく戻るには、キーボードの Windows キー  を押します。Windows キーをもう一度押すと、前の画面に戻ります。
- **インターネットへの接続:** インターネットに接続できるように、有線ネットワークまたは無線ネットワークをセットアップします。詳しくは、[20 ページの「ネットワーク接続」](#) を参照してください。
- **ウィルス対策ソフトウェアの更新:** ウィルスによる被害からコンピューターを保護します。このソフトウェアは、お使いのコンピューターにプリインストールされています。詳しくは、[49 ページの「ウィルス対策ソフトウェアの使用」](#) を参照してください。
- **コンピューター本体の確認:** お使いのコンピューターの各部や特徴を確認します。詳しくは、[4 ページの「各部の名称と機能概要」](#) および[26 ページの「画面の操作」](#) を参照してください。
- **インストールされているソフトウェアの確認:** コンピューターにプリインストールされているソフトウェアの一覧を表示します。
[スタート]ボタンを選択して、[すべてのアプリ]を選択します。
または
[スタート]ボタンを右クリックし、[プログラムと機能]を選択します。
- リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成して、ハードドライブをバックアップします。[56 ページの「バックアップおよび復元」](#) を参照してください。

情報の確認

このガイドに記載されている情報を確認した後は、下の表に記載されている説明書や Web サイトも参照してください。

リソース	内容
『セットアップ手順』ポスター（印刷物）	<ul style="list-style-type: none">● コンピューターのセットアップおよび機能の概要
HP のサポート	<ul style="list-style-type: none">● HP のサービス担当者とオンラインでチャットする● HP のサポート窓口の電話番号を調べる● HP のサービスセンターを探す
日本でのサポートについては、 http://www.hp.com/jp/support/ を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、 http://welcome.hp.com/country/us/en/wwwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください	
『快適に使用していただくために』	<ul style="list-style-type: none">● 正しい作業環境の整え方
このガイドを表示するには、以下の操作を行います	<ul style="list-style-type: none">● 快適でがを防ぐための姿勢および作業上の習慣に関するガイドライン
▲ [スタート]ボタン→[すべてのアプリ]→[HP Help and Support] (HP ヘルプとサポート) →[HP Documentation] (HP ドキュメント) の順に選択します	<ul style="list-style-type: none">● 電気的および物理的安全基準に関する情報
または	
▲ [スタート]ボタン→[すべてのアプリ]→[HP Documentation]の順に選択します	
または	
▲ タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して [HP Support Assistant] アプリを選択します。[自分の PC]→[仕様]タブ→[ユーザー ガイド]の順に選択します	
または	
▲ タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします。[自分の PC]→[仕様]タブ→[ユーザー ガイド]の順に選択します	
または	
▲ http://www.hp.com/ergo/ (英語サイト) から[日本]を選択します	
重要：最新バージョンのユーザー ガイドを参照するには、インターネットに接続する必要があります	
『規定、安全、および環境に関するご注意』	<ul style="list-style-type: none">● 重要な規定情報 (必要に応じて、バッテリの処分方法に関する情報など)
このガイドを表示するには、以下の操作を行います	
▲ [スタート]ボタン→[すべてのアプリ]→[HP Help and Support]→[HP Documentation]の順に選択します	
または	
▲ [スタート]ボタン→[すべてのアプリ]→[HP Documentation]の順に選択します	
または	
▲ タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して [HP Support Assistant] アプリを選択します。[自分の PC]→[仕様]タブ→[ユーザー ガイド]の順に選択します	

リソース	内容
または	<p>▲ タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします。 [自分の PC]→[仕様]タブ→[ユーザー ガイド]の順に選択します</p>
限定保証規定*	<ul style="list-style-type: none">このコンピューターの具体的な保証内容
日本向けの日本語モデルに適用される HP 限定保証規定は、 製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されています	

* HP 限定保証規定は、国や地域によっては、お使いの製品に収録されているドキュメントまたは製品に付属の CD や DVD に収録されているドキュメントに示されています。日本向けの日本語モデル製品には、保証内容を記載した小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』が付属しています。また、日本以外でも、印刷物の保証規定が製品に付属している国や地域もあります。保証規定が印刷物として提供されていない国または地域では、コピーを入手できます。<http://www.hp.com/go/orderdocuments/> でオンラインで申し込むか、アジア太平洋地域で購入された製品につきましては、POD, PO Box 161, Kitchener Road Post Office, Singapore 912006 宛てに郵送でも申し込めます。その場合は、お使いの製品名、およびお客様のお名前、お電話番号、ご住所をご明記ください。

2 各部の名称と機能概要

ハードウェアの確認

どのようなハードウェアがコンピューターに取り付けられているかを調べるには、以下の操作を行います。

- ▲ タスクバーの検索ボックスで「デバイス マネージャー」と入力して、【デバイス マネージャー】アプリを選択します。

コンピューターに取り付けられているすべてのデバイスの一覧が表示されます。

システムのハードウェアコンポーネントおよびシステム BIOS のバージョン番号に関する情報を確認するには、**fn + esc** キーを押します（一部の製品のみ）。

ソフトウェアの確認

コンピューターにインストールされているソフトウェアを確認するには、以下の操作を行います。

- ▲ 【スタート】ボタンを選択して、【すべてのアプリ】を選択します。

または

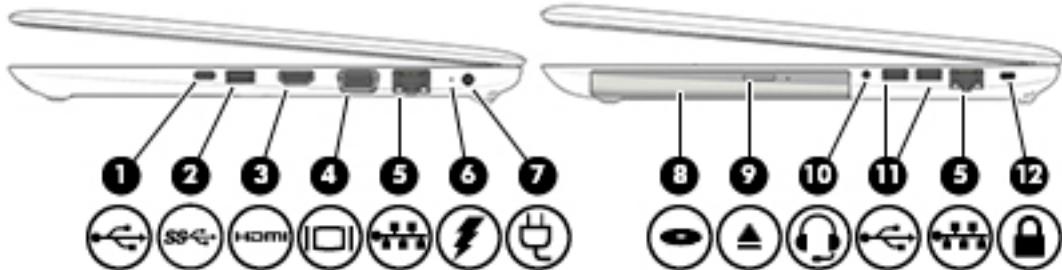
【スタート】ボタンを右クリックし、【プログラムと機能】を選択します。



注記：ソフトウェアによっては表示されないものもあります。

右側面の各部

 **注記：**お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。

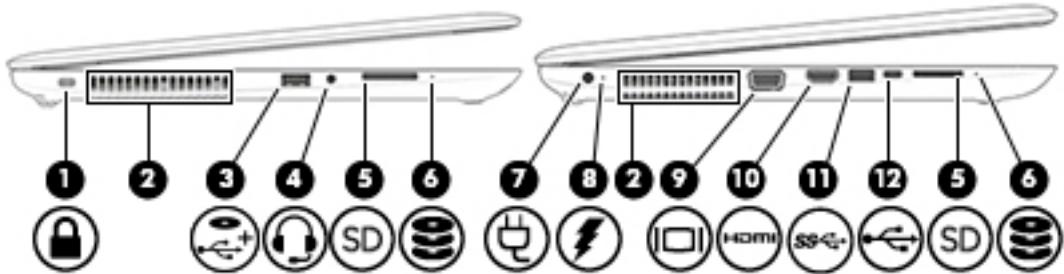


名称		説明
(1)		USB Type-C ポート（電源オフ USB チャージ機能対応） USB Type-C コネクタを持つデバイスを接続します。携帯電話、コンピューター、タブレット、MP3 プレーヤーなどの製品を充電できます
(2)		USB 3.0 ポート キーボード、マウス、外付けドライブ、プリンター、スキャナー、USB ハブなどの別売の USB デバイスを接続します
(3)		HDMI 出力端子 HD 対応テレビなどの別売のビデオデバイスやオーディオデバイス、対応するデジタルコンポーネントやオーディオコンポーネント、または高速 HDMI (High-Definition Multimedia Interface) デバイスを接続します
(4)		外付けモニターコネクタ 外付け VGA モニターまたはプロジェクターを接続します
(5)		RJ-45 (ネットワーク) コネクタ/ステータスランプ ネットワークケーブルを接続します <ul style="list-style-type: none">緑色 (左) : ネットワークに接続していますオレンジ色 (右) : ネットワークが動作しています
(6)		バッテリ ランプ 外部電源が接続されている場合： <ul style="list-style-type: none">白色 : バッテリの充電が 90% を越えていますオレンジ色 : バッテリの充電が 0 ~ 90% 完了しています消灯 : バッテリが充電されていません 外部電源が接続されていない (バッテリが充電されていない) 場合： <ul style="list-style-type: none">オレンジ色で点滅 : バッテリがロー バッテリ状態に達しています。完全なロー バッテリ状態になった場合は、バッテリランプがすばやく点滅し始めます消灯 : バッテリが充電されていません
(7)		電源コネクタ AC アダプターを接続します
(8)		オプティカルドライブ (一部の製品のみ) オプティカルディスクの読み取りまたはオプティカルディスクへの書き込みを行います (お使いのコンピューターのモデルによって異なります)

名称	説明
(9) 	オプティカルドライブイ ジェクトボタン (一部の製品 のみ) オプティカルドライブのディスクトレイを引き出せるよ うにします
(10) 	オーディオ出力 (ヘッドフォ ン)/オーディオ入力 (マイク) コンボコネクタ 別売または市販の別途電力が供給されているステレオス ピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テ レビオーディオケーブルなどを接続します。市販のヘッ ドセットマイクを使用する場合もここに接続します。こ のコネクタは、市販の単独のマイクには対応していません 警告！ 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、 音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、または ヘッドセットを使用してください。安全に関する情報 について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご 注意』を参照してください このガイドを表示するには、以下の操作を行います 1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して [HP Support Assistant] アプリを選択します または タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックしま す 2. [自分のPC]→[仕様]タブ→[ユーザー ガイド]の順に選 択します 注記： コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター 本体のスピーカーは無効になります
(11) 	USB 2.0 ポート (×2) キーボード、マウス、外付けドライブ、プリンター、ス キヤナー、USB ハブなどの別売の USB デバイスを接続しま す
(12) 	セキュリティロックケーブ ル用スロット 別売のセキュリティロックケーブルを接続します 注記： セキュリティロックケーブルに抑止効果はありま すが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防 ぐものではありません

左側面の各部

 **注記：**お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。

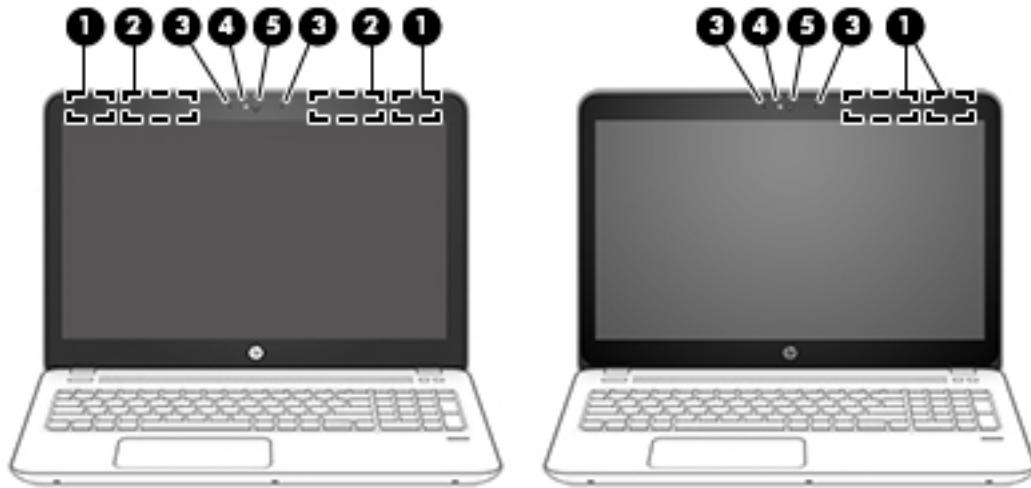


名称	説明
(1) 	セキュリティ ロック ケーブル用スロット 別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します 注記： セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありませんが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません
(2) 	通気孔 コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記： (ファンレス モデルを除く) コンピューターのファンは、内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐために自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(3) 	USB 2.0 ポート (電源オフ USB チャージ機能対応) キーボード、マウス、外付けドライブ、プリンター、スキャナー、USB ハブなどの別売の USB デバイスを接続します。携帯電話、コンピューター、タブレット、および MP3 プレーヤーなどの製品を充電することもできます
(4) 	オーディオ出力 (ヘッドフォン)/オーディオ入力 (マイク) コンボ コネクタ 別売または市販の別途電力が供給されているステレオスピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビオーディオケーブルなどを接続します。市販のヘッドセットマイクを使用する場合もここに接続します。このコネクタは、市販の単独のマイクには対応していません 警告！ 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください このガイドを表示するには、以下の操作を行います
1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して [HP Support Assistant] アプリを選択します または タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします	
2. [自分の PC] → [仕様] タブ → [ユーザー ガイド] の順に選択します 注記： コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります	

名称		説明
(5)	SD	メディアカードスロット 情報の保存、管理、共有、およびアクセスを可能にする別売のメディアカードを読み取ります
(6)		ドライブランプ • 白色で点滅：ハードドライブにアクセスしています • オレンジ色に点灯：[HP 3D DriveGuard]によってハードドライブが一時停止しています 注記： [HP 3D DriveGuard]について詳しくは、 52 ページの [HP 3D DriveGuard] の使用（一部の製品のみ） を参照してください
(7)		電源コネクタ AC アダプターを接続します
(8)		バッテリ ランプ 外部電源が接続されている場合： • 白色：バッテリの充電が 90%を越えています • オレンジ色：バッテリの充電が 0 ~ 90%完了しています • 消灯：バッテリが充電されていません 外部電源が接続されていない（バッテリが充電されていない）場合： • オレンジ色で点滅：バッテリがロー バッテリ状態に達しています。完全なロー バッテリ状態になった場合は、バッテリ ランプがすばやく点滅し始めます • 消灯：バッテリが充電されていません
(9)		外付けモニター コネクタ 外付け VGA モニターまたはプロジェクターを接続します
(10)		HDMI 出力端子 HD 対応テレビなどの別売のビデオ デバイスやオーディオ デバイス、対応するデジタルコンポーネントやオーディオ コンポーネント、または高速 HDMI (High-Definition Multimedia Interface) デバイスを接続します
(11)		USB 3.0 ポート キーボード、マウス、外付けドライブ、プリンター、スキャナー、USB ハブなどの別売の USB デバイスを接続します
(12)		USB Type-C ポート（電源オフ USB チャージ機能対応） USB Type-C コネクタを持つデバイスを接続します。携帯電話、コンピューター、タブレット、MP3 プレーヤーなどの製品を充電できます

ディスプレイの各部

 **注記**：お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。



名称	説明
(1) 無線 LAN アンテナ* (一部の製品のみ)	無線ローカルエリアネットワーク（無線 LAN）で通信する無線信号を送受信します
(2) 無線 WAN アンテナ* (一部の製品のみ)	無線ワイドエリアネットワーク（無線 WAN）で通信する無線信号を送受信します
(3) 内蔵マイク (モデルによって 1つまたは 2つ)	サウンドを集音、録音します
(4) Web カメラランプ (一部の製品のみ)	Web カメラの使用中に点灯します
(5) Web カメラ (一部の製品のみ)	動画を録画したり、写真を撮影したりします。一部のモデルでは、動画のストリーミングによるビデオ会議やオンラインチャットができます Web カメラを使用するには、以下の操作を行います ▲ タスクバーの検索ボックスで「カメラ」と入力して 【カメラ】 を選択します

* アンテナはコンピューターの外側からは見えません。送受信が最適に行われるようになりますため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。

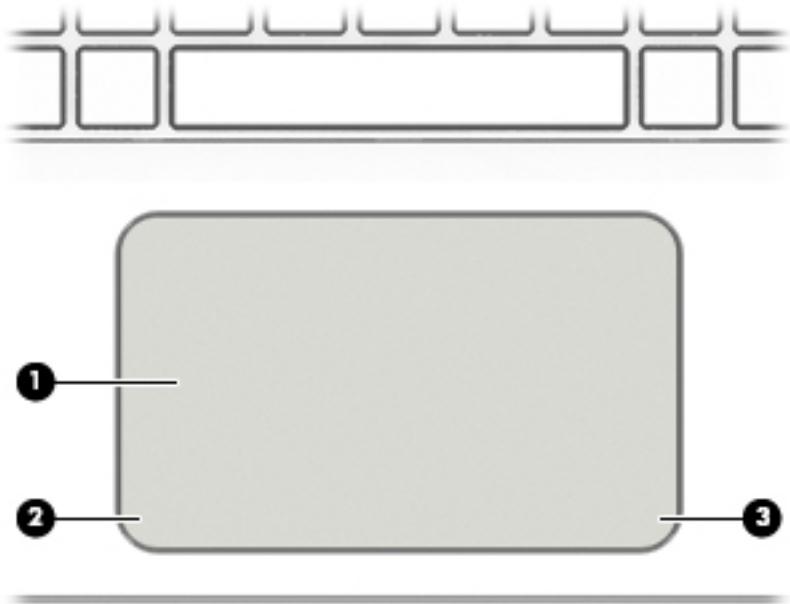
お住まいの国または地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

このガイドを表示するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して**【HP Support Assistant】**アプリを選択します。
または
タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします。
2. **【自分の PC】**→**【仕様】**タブ→**【ユーザー ガイド】**の順に選択します。

表面の各部

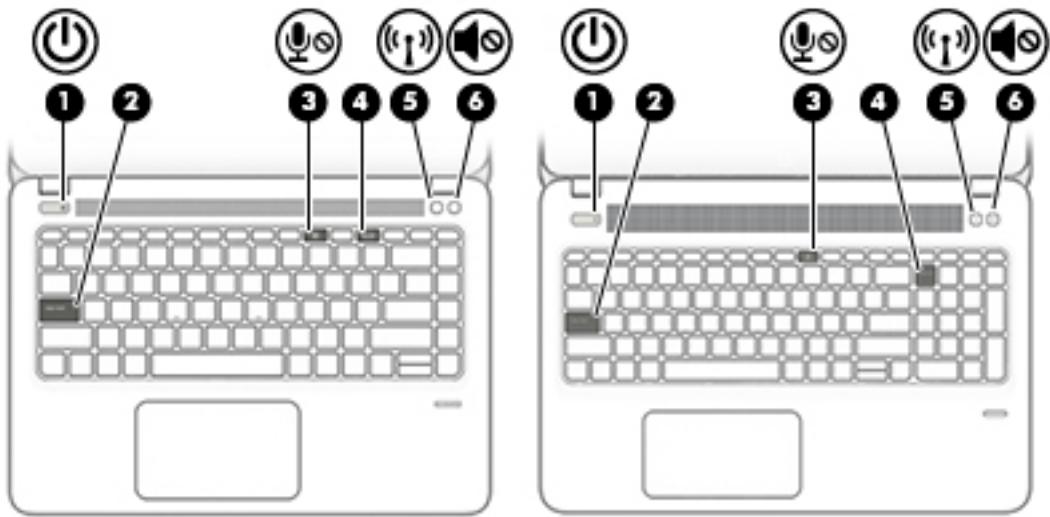
タッチパッド



名称	説明	
(1)	タッチパッドゾーン	指によるジェスチャを読み取り、画面上のポインターを移動したり項目をアクティブにしたりします
(2)	左のタッチパッドボタン	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3)	右のタッチパッドボタン	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

ランプ

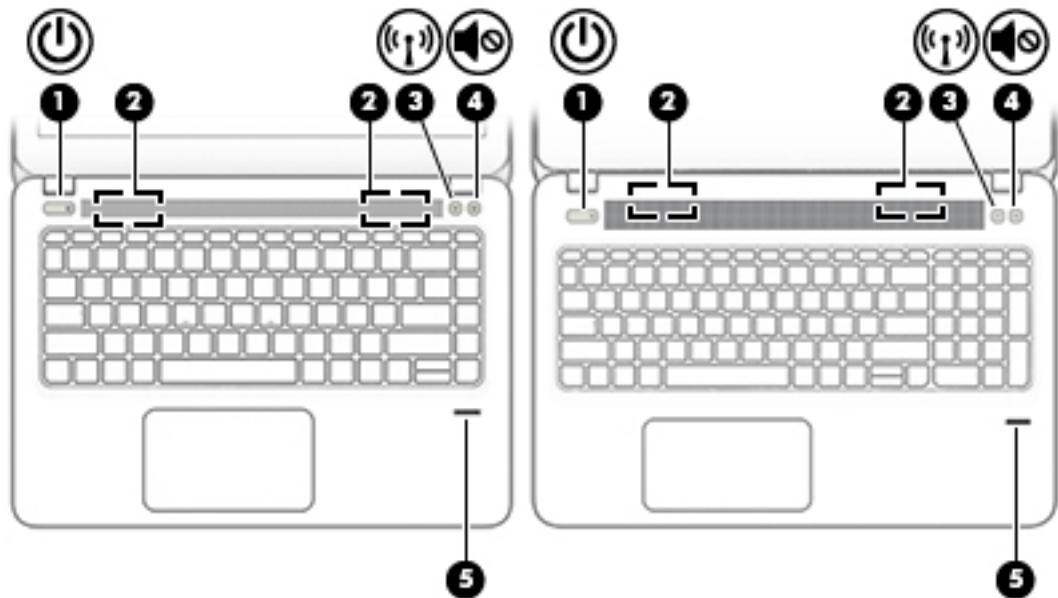
 **注記：**お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。下の図は英語版のキー配列です。日本語版とは配列および個別のキーの形が若干異なります。



名称		説明
(1)		電源ランプ <ul style="list-style-type: none">点灯：コンピューターの電源がオンになっています点滅：コンピューターはスリープ状態で、省電力状態になっています。ディスプレイおよびその他の不要なコンポーネントの電源はオフになっています消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、休止状態になっています。休止状態は、最小限の電力を使用する省電力状態です
(2)		Caps Lock ランプ 点灯：Caps Lock がオンになっていて、アルファベットが大文字で入力されます
(3)		マイクの消音ランプ <ul style="list-style-type: none">オレンジ色：マイクのサウンドがオフになっています消灯：マイクのサウンドがオンになっています
(4)		Num Lock ランプ 点灯：Num Lock がオンになっています
(5)		無線ランプ 点灯：無線ローカルエリアネットワーク（無線 LAN）デバイスや Bluetooth® デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオフになっています 注記： モデルによっては、すべての無線デバイスがオフになっている場合に無線ランプがオレンジ色に点灯します
(6)		ミュート（消音）ランプ <ul style="list-style-type: none">オレンジ色：コンピューターのサウンドがオフになっています白色：コンピューターのサウンドがオンになっています

ボタン、スピーカー、および指紋認証システム

 **注記:** お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。下の図は英語版のキー配列です。日本語版とは配列および個別のキーの形が若干異なります。

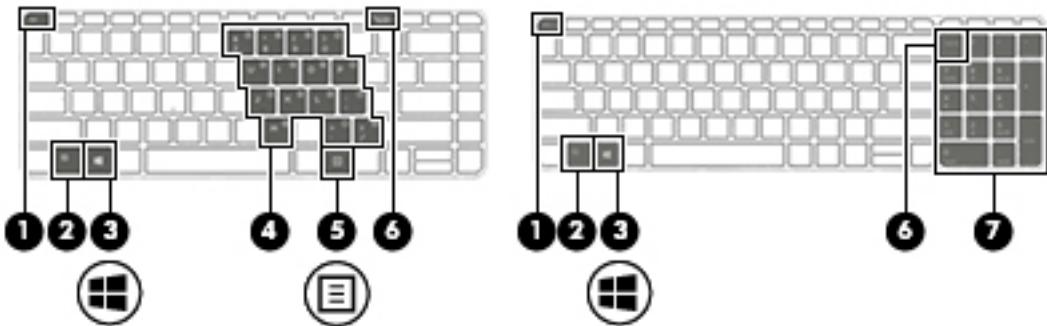


名称	説明
(1) 	<p>電源ボタン</p> <ul style="list-style-type: none">コンピューターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入りますコンピューターの電源が入っているときにボタンを短く押すと、スリープが開始されますコンピューターがスリープ状態のときにボタンを短く押すと、スリープが終了しますコンピューターが休止状態のときにボタンを短く押すと、休止状態が終了します <p>注意: 電源ボタンを押したままにして電源を切断すると、保存されていない情報は失われます</p> <p>コンピューターが応答せず、シャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを5秒程度押したままにすると、コンピューターの電源が切れます</p> <p>電源設定について詳しくは、電源オプションを確認してください</p> <p>▲ タスクバーの検索ボックスで「電源」と入力して【電源とスリープの設定】を選択します</p> <p>または</p> <p>【スタート】ボタンを右クリックして【電源オプション】を選択します</p>
(2)	スピーカー (×2)
(3) 	無線ボタン

名称	説明	
	無線接続を確立するには、事前に無線ネットワークがセットアップされている必要があります	
(4) 	ミュート (消音) ボタン	スピーカーの音を消したり音量を元に戻したりします
(5)	指紋認証システム (一部の製品のみ)	パスワードの代わりに指紋認証を使用して Windows にログオンできます

特別なファンクションキー

 **注記:** お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。下の図は英語版のキー配列です。日本語版とは配列および個別のキーの形が若干異なります。



名称		説明
(1)		esc キー fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2)		fn キー ファンクションキー、 num lk キー、または esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します 15 ページのホットキーの使用 を参照してください
(3)		Windows キー 【スタート】メニューを開きます 注記: Windows キーをもう一度押すと、【スタート】メニューを閉じます
(4)		内蔵テンキー キーボードのアルファベットキーに重なって表示されるテンキーで、加算や減算などの計算作業を実行できます。Num Lock 機能がオンになっているときは、外付けテンキーと同様に使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです
(5)		Windows アプリケーションキー 選択したオブジェクトのオプションを表示します
(6)		内蔵テンキーのオン/オフを切り替えます または 内蔵テンキーのナビゲーション機能と数字入力機能が切り替わります
(7)		内蔵テンキー アルファベットキーの右横にある独立したキーボードで、加算や減算などの計算作業を実行できます。Num Lock 機能がオンになっているときは、外付けテンキーと同様に使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです

ホットキーの使用

ホットキーを使用するには、以下の操作を行います。

▲ **fn** キーを押してから、以下のアイコンで示されている適切なファンクションキーを押します。

fn キーと一緒に押すファンクションキー



スリープを開始します。これによって、情報がシステムメモリに保存されます。ディスプレイおよびその他のシステムコンポーネントはオフになり、節電されます

スリープを終了するには、電源ボタンを短く押します

注意：情報の損失を防ぐために、スリープを開始する前に必ずデータを保存してください



キーボードのバックライトをオンまたはオフにします

注記：バッテリ電源を節約するには、この機能をオフにします



システムに接続されているディスプレイ間で画面を切り替えます。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合は、このキーを繰り返し押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります



このキーを押したままにすると、画面輝度が一定の割合で徐々に下がります



このキーを押したままにすると、画面輝度が一定の割合で徐々に上がります



このキーを押したままにすると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります



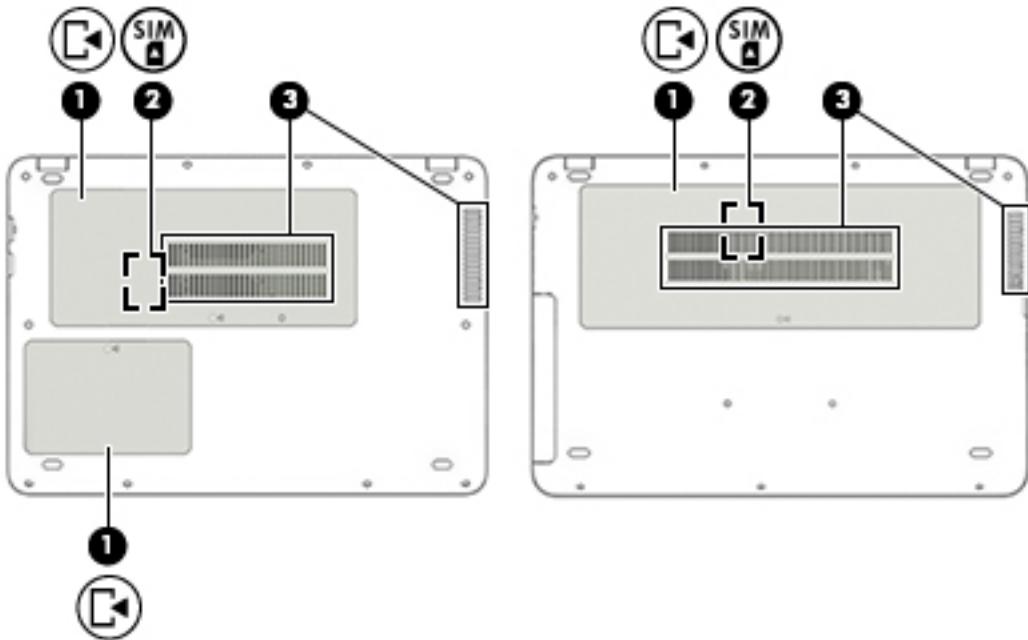
このキーを押したままにすると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります



マイクをミュート（消音）します

裏面の各部

 **注記：**お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。



名称	説明
(1) 	底面カバー（モデルによって1または×2） ハードドライブベイ、無線 LAN モジュールスロット、無線 WAN モジュールスロット、SIM カードスロット、およびメモリ モジュールスロットがあります 注意： システムの応答停止を防ぐため、無線モジュールを交換する場合は、各国/地域の無線デバイスの認定/承認機関でこのコンピューター用に認定された製品のみを使用してください。モジュールを交換した後にエラーメッセージが表示される場合は、モジュールを取り外してコンピューターを元の状態に戻してから、HP のサポート窓口にお問い合わせください ▲ タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して [HP Support Assistant] アプリを選択します または タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします
(2) 	SIM カードスロット、または SIM カードロック ヒンジコネクタ（一部の製品のみ） SIM (Subscriber Identity Module) カードを挿入します。SIM カードスロットまたは SIM カードロック ヒンジコネクタは、底面カバー内にあります
(3) 	通気孔（×2） コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記： （ファンレス モデルを除く）コンピューターのファンは、内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐために自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です

ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決するために問い合わせたり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な基本情報が記載されています。

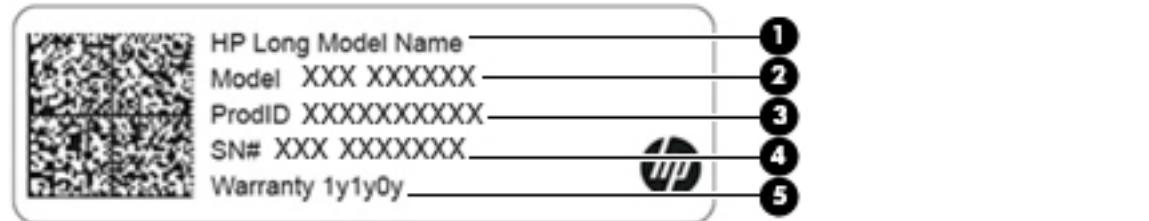
☞ 重要：このセクションで説明するラベルの位置については、コンピューターの裏面、バッテリベイ内、底面カバーの裏面、またはディスプレイの背面を確認してください。

- サービスラベル：お使いのコンピューターを識別するための重要な情報が記載されています。HPのサポート窓口にお問い合わせになるときに、シリアル番号や、製品番号またはモデル番号を尋ねられることがあります。お問い合わせになる前に、これらの番号を確認しておいてください。

サービスラベルは、下に示す例のどれかのような外観です。お使いのコンピューターのサービスラベルに近い図を参照してください。



名称	名称
(1) シリアル番号	(3) 保証期間
(2) 製品番号	(4) モデル番号 (一部の製品のみ)



名称	名称
(1) HP 製品名 (一部の製品のみ)	(4) シリアル番号
(2) モデル番号	(5) 保証期間
(3) 製品 ID 番号	

- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。
- 無線認定/認証ラベル：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の認定マークが記載されています。

SIM カードの装着（一部の製品のみ）

 **注記**：お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。

 **注意**：コネクタの損傷を防ぐため、SIM カードを装着するときは無理な力を加えないでください。

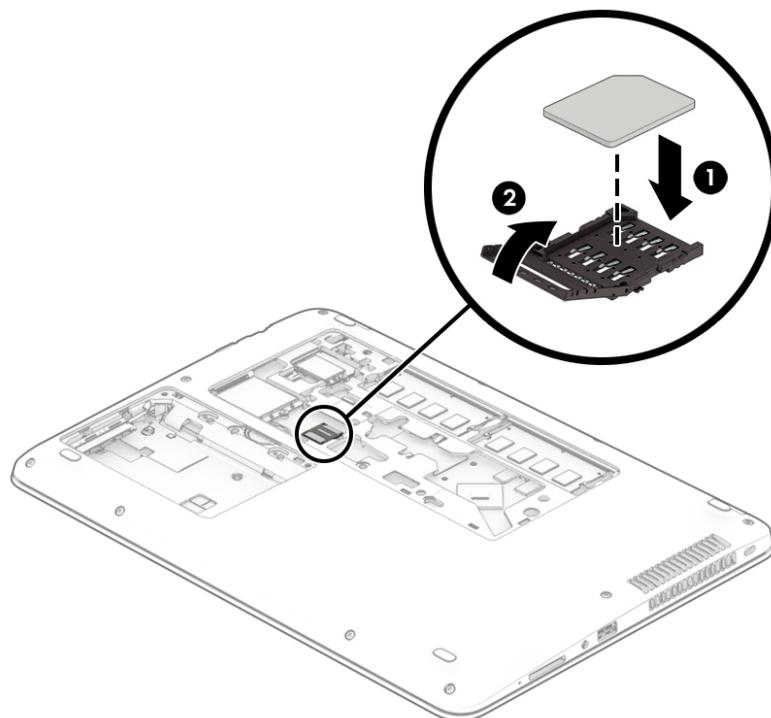
SIM カードロック ヒンジコネクタ付きのコンピューター

SIM カードを装着するには、以下の操作を行います。

1. [シャットダウン]コマンドを使用して、コンピューターの電源を切ります。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. 安定した平らな場所に、コンピューターの底面が上になるようにして置きます。
6. 底面カバーを取り外します。
7. SIM カードロック ヒンジコネクタを開きます。
8. コネクタに SIM カードをゆっくりと押し込み (1)、ヒンジを下向きに回転させて (2) SIM カードを固定します。

 **注記**：お使いのコンピューターの SIM カードは、ここに記載されている図と多少異なる場合があります。

 **注記**：SIM カードをコンピューターに挿入する方向については、底面カバー ベイに示された図をご覧ください。



SIM カードを取り出すには、SIM カードコネクタのヒンジを上向きに回転させ、固定を解除してからコネクタから取り出します。

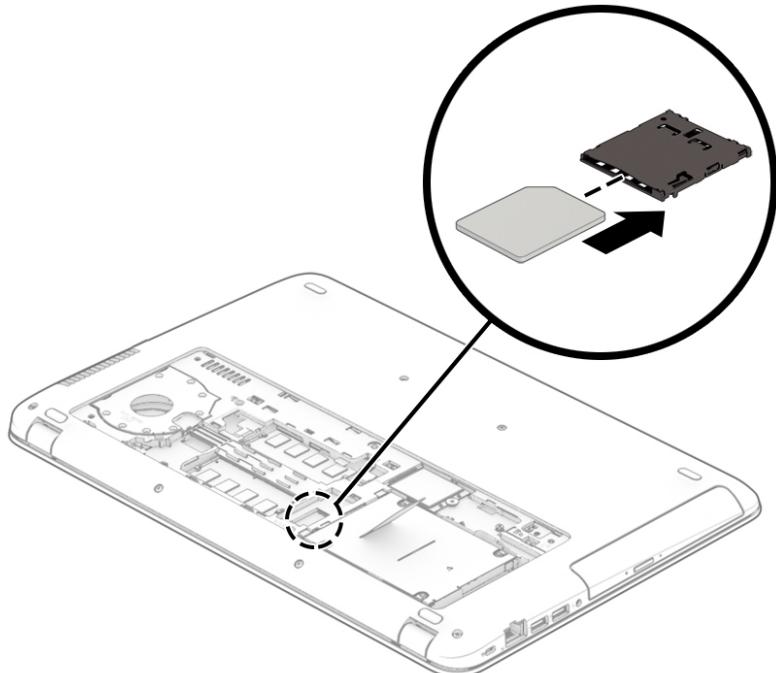
SIM カードスロット付きのコンピューター

SIM カードを装着するには、以下の操作を行います。

1. [シャットダウン]コマンドを使用して、コンピューターの電源を切ります。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. 安定した平らな場所に、コンピューターの底面が上になるようにして置きます。
6. 底面カバーを取り外します。
7. SIM カード スロットに SIM カードを挿入し、しっかりと収まるまで SIM カードを押し込みます。

 **注記:** お使いのコンピューターの SIM カードは、ここに記載されている図と多少異なる場合があります。

 **注記:** SIM カードをコンピューターに挿入する方向については、底面カバー ベイに示された図をご覧ください。



SIM カードを取り出すには、SIM カードをいったんスロットに押し込んで、固定を解除してから引き抜きます。

3 ネットワーク接続

お使いのコンピューターは、どこへでも持ち運べます。しかし、自宅にいるときでも、コンピューターを有線または無線ネットワークに接続して使用すれば、世界中を検索して何百万もの Web サイトの情報を参照できます。この章では、ネットワークで世界と接続する方法について説明します。

無線ネットワークへの接続

お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが 1 つまたは複数内蔵されている場合があります。

- 無線 LAN デバイス：会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、コーヒーショップ、ホテル、大学など）で、コンピューターを無線ローカルエリアネットワーク（一般に、無線 LAN ネットワーク、無線 LAN、WLAN と呼ばれます）に接続します。無線 LAN では、コンピューターのモバイル無線デバイスは無線ルーターまたは無線アクセスポイントと通信します。
- HP モバイルブロードバンドモジュール（一部の製品のみ）：より広い範囲での無線接続を実現する、無線ワイドエリアネットワーク（無線 WAN）デバイスです。モバイルネットワーク事業者は、地理的に広い範囲に基地局（携帯電話の通信塔に似ています）を設置し、県や地域、場合によっては国全体にわたってサービスエリアを効率的に提供します。
- Bluetooth デバイス：他の Bluetooth 対応デバイス（コンピューター、タブレット、電話機、プリンター、ヘッドセット、スピーカー、カメラなど）に接続するためのパーソナルエリアネットワーク（PAN）を確立します。PAN では、各デバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス同士が比較的近距離になければなりません（通常は約 10 m 以内）。

無線コントロールの使用

以下の 1 つまたは複数の機能を使用して、コンピューター本体の無線デバイスを制御できます。

- 無線ボタン（機内モードキーまたは無線キーとも呼ばれます）（この章ではこれらすべてを無線ボタンと呼びます）
- オペレーティングシステムの制御機能

無線ボタン

コンピューターには無線ボタン、1 つまたは複数の無線デバイス、および 1 つまたは 2 つの無線ランプがあります。出荷時の設定では、コンピューターのすべての無線デバイスが有効になっています。

無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個々のデバイスの状態を表すものではありません。

オペレーティングシステムの制御機能

オペレーティングシステムの制御機能である[ネットワークと共有センター]では、接続またはネットワークのセットアップ、ネットワークへの接続、およびネットワークの問題の診断と修復が行えます。

[ネットワークと共有センター]にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスに「コントロール」と入力して、[コントロールパネル]を選択します。
2. [ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]の順に選択します。

無線 LAN への接続

 **注記:** 自宅でインターネットアクセスをセットアップするには、インターネットサービスプロバイダー (ISP) のアカウントを設定する必要があります。インターネットサービスの申し込みおよびモデムの購入については、利用する ISP に問い合わせてください。ほとんどの ISP が、モデムのセットアップ、無線ルーターをモデムに接続するためのネットワークケーブルの取り付け、インターネットサービスのテストなどの作業に関するサポートを提供しています。

無線 LAN に接続するには、以下の操作を行います。

1. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。
2. タスクバーのネットワークステータスアイコンを選択して、利用可能なネットワークのどれかに接続します。

無線 LAN がセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティコードの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、[次へ]を選択して接続を完了します。

 **注記:** 無線 LAN が一覧に表示されない場合は、無線ルーターまたはアクセスポイントの範囲外にいる可能性があります。

 **注記:** 接続したい無線 LAN が表示されない場合は、タスクバーのネットワークステータスアイコンを右クリックして、[ネットワークと共有センターを開く]を選択します。[新しい接続またはネットワークのセットアップ]を選択します。[接続オプションの一覧]が表示されて、手動で検索してネットワークに接続したり、新しいネットワーク接続を作成したりするなどの操作を選択できます。

3. 画面の説明に沿って操作し、接続を完了します。

接続完了後、タスクバー右端にあるネットワークステータスアイコンを選択すると、接続の名前およびステータスを確認できます。

 **注記:** 動作範囲（無線信号が届く範囲）は、無線 LAN の実装、ルーターの製造元、および壁や床などの建造物やその他の電子機器からの干渉に応じて異なります。

HP モバイル ブロードバンドの使用（一部の製品および一部の国や地域のみ）

HP モバイル ブロードバンド コンピューターは、モバイル ブロードバンド サービスをあらかじめサポートしています。この新しいコンピューターでモバイル事業者のネットワークを使用すると、無線 LAN スポットなしで、インターネットへの接続、電子メールの送信、および企業ネットワークへの接続が可能になります。

 **注記：**お使いのコンピューターで[HP Mobile Connect]を使用できる場合、このセクションで説明する手順は適用されません。[22 ページの\[HP Mobile Connect Pro\]の使用（一部の製品のみ）](#)を参照してください。

モバイル ブロードバンド サービスを有効にするには、HP モバイル ブロードバンド モジュールの IMEI 番号および MEID 番号が必要な場合があります。番号は、コンピューターの裏面、バッテリ ベイ内、底面カバーの裏面、またはディスプレイの背面のラベルに印刷されている場合があります。

または

以下の操作を行って番号を確認できます。

1. タスクバーから、ネットワーク ステータス アイコンを選択します。
2. **[View Connection Settings]**（接続設定の表示）を選択します。
3. **[モバイル ブロードバンド]**セクションで、ネットワーク ステータス アイコンを選択します。

モバイル ネットワーク事業者によっては、SIM カードが必要な場合があります。SIM カードには、PIN（個人識別番号）やネットワーク情報など、ユーザーに関する基本的な情報が含まれています。一部のコンピューターでは、SIM カードがあらかじめ装着されています。SIM カードがあらかじめ装着されていない場合、SIM カードは、コンピューターに付属している HP モバイル ブロードバンド情報に含まれているか、モバイル ネットワーク事業者から別途入手できることがあります。

HP モバイル ブロードバンドに関する情報や、推奨されるモバイル ネットワーク事業者のサービスを有効にする方法については、コンピューターに付属している HP モバイル ブロードバンド情報を参照してください。

[HP Mobile Connect Pro]の使用（一部の製品のみ）

[HP Mobile Connect Pro]は、費用対効果に優れ、安全性が高く、操作が簡単で、柔軟性の高いモバイル ブロードバンド接続をお使いのコンピューターで利用できるプリペイド モバイル ブロードバンド サービスです。[HP Mobile Connect Pro]を使用するには、お使いのコンピューターに SIM カードおよび [HP Mobile Connect] アプリが必要です。[HP Mobile Connect Pro]および利用可能な国や地域について詳しくは、<http://www.hp.com/go/mobileconnect/>（英語サイト）を参照してください。

GPS の使用（一部の製品のみ）

お使いのコンピューターには、GPS（Global Positioning System）デバイスが内蔵されている場合があります。GPS 搭載システムには、GPS衛星から位置、速度、および方角に関する情報が送信されます。

GPS を有効にするには、Windows のプライバシー設定で位置情報を有効にしてください。

1. タスクバーの検索ボックスで「位置」と入力して、**[位置情報のプライバシー設定]**を選択します。
2. 画面の説明に沿って、位置情報を設定します。

詳しい情報については、[はじめに] アプリを参照してください。

[はじめに] アプリにアクセスするには、以下の操作を行います。

- ▲ [スタート]ボタン→[はじめに] アプリの順に選択します。

Bluetooth 無線デバイスの使用（一部の製品のみ）

Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、以下のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。

- コンピューター（デスクトップ、ノートブック、タブレット）
- 電話機（携帯、コードレス、スマートフォン）
- イメージング デバイス（プリンター、カメラ）
- オーディオ デバイス（ヘッドセット、スピーカー）
- マウス
- 外付けキーボード

Bluetooth デバイスは、Bluetooth デバイスの PAN を設定できるピアツーピア機能を提供します。

Bluetooth デバイスの設定および使用方法については、[はじめに]アプリを参照してください。

- ▲ [スタート]ボタン→[はじめに]アプリの順に選択します。

Bluetooth デバイスの接続

Bluetooth デバイスを使用する前に、Bluetooth 接続を確立する必要があります。

1. タスクバーの検索ボックスで「Bluetooth」と入力して**[Bluetooth 設定]**を選択します。
2. Bluetooth がオフになっていない場合はオフにします。
3. お使いのデバイスを一覧から選択し、画面の説明に沿って操作します。

 **注記** : Bluetooth デバイスの検証が必要な場合は、ペアリングコードが表示されます。追加中の Bluetooth デバイスで画面の説明に沿って操作し、デバイスに表示されているコードがペアリングコードと一致することを確認します。詳しくは、当該デバイスに付属の説明書等を参照してください。

 **注記** : お使いのデバイスが一覧に表示されない場合は、そのデバイスで Bluetooth がオフになっていないことを確認します。デバイスによっては追加の要件がある場合があるため、当該デバイスに付属の説明書を参照してください。

有線ネットワーク (LAN) への接続

一部の製品では、有線ネットワーク（ローカルエリアネットワーク（LAN）およびモデム接続）を使用できる場合があります。LAN 接続ではネットワークケーブルを使用しており、電話ケーブルを使用するモデムよりも大幅に高速で接続できます。これらのケーブルは別売です。

⚠ **警告！** 火傷や感電、火災、および装置の損傷を防ぐため、モデムケーブルまたは電話ケーブルを RJ-45 (ネットワーク) コネクタに接続しないでください。

ローカルエリアネットワーク (LAN) への接続 (一部の製品のみ)

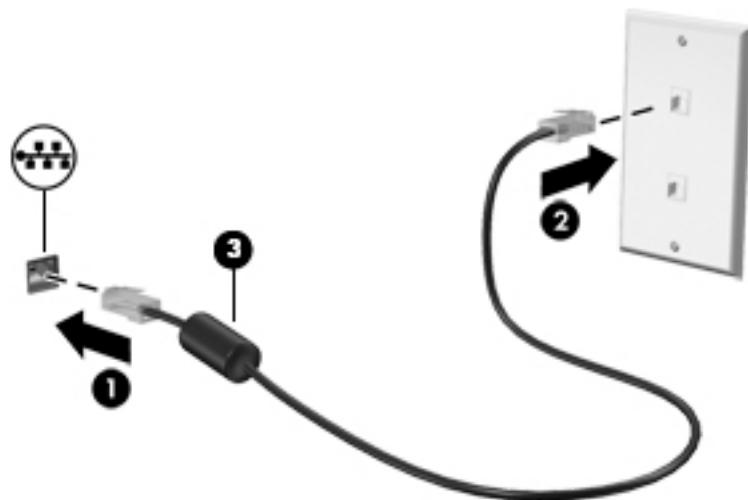
コンピューターを自宅のルーターに無線ではなく有線で接続する場合、または会社等の既存のネットワークに接続する場合は、有線 LAN 接続を使用します。

有線 LAN に接続するには、別売の 8 ピンの RJ-45 ネットワークケーブル、またはコンピューターに RJ-45 コネクタがない場合は別売のドッキングデバイスや拡張ポートを使用する必要があります。

ネットワークケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

1. ネットワークケーブルの一方の端をコンピューター本体のネットワークコネクタに差し込みます (1)。
2. ネットワークケーブルのもう一方の端をデジタルモジュラーコンセントまたはルーターに差し込みます (2)。

☞ **注記：**ネットワークケーブルに、テレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア (3) が取り付けられている場合は、コアが取り付けられている方の端をコンピューターに接続します。



モデムの使用 (一部の製品のみ)

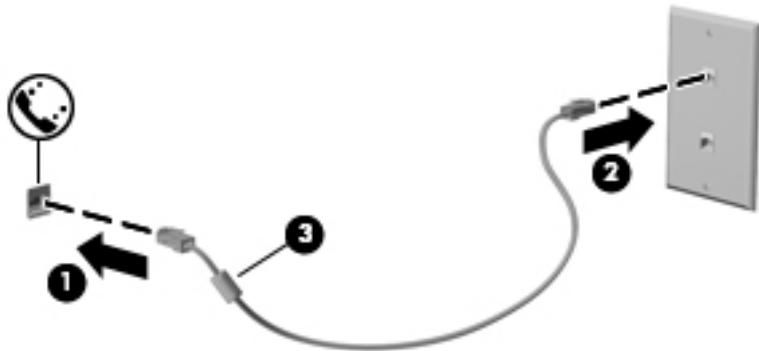
お使いのコンピューターの内蔵モデムをアナログ電話回線に接続するには、6 ピンの RJ-11 モデムケーブルを使用する必要があります。国や地域によっては、各国または各地域仕様のモデムケーブルアダプターも必要な場合があります。デジタル構内回線 (PBX) システム用のコネクタは、アナログ電話回線用のモジュラーコンセントと似ていますが、このモデムには使用できません。

モデム ケーブルの接続

モデム ケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

1. モデム ケーブルをコンピューター本体のモデム コネクタに差し込みます (1)。
2. モデム ケーブルのもう一方の端を電話回線用モジュラー コンセントに接続します (2)。

 **注記：** モデム ケーブルに、テレビやラジオからの干渉を防止するノイズ抑制コア (3) が取り付けられている場合は、コアが取り付けられている方の端をコンピューターに接続します。

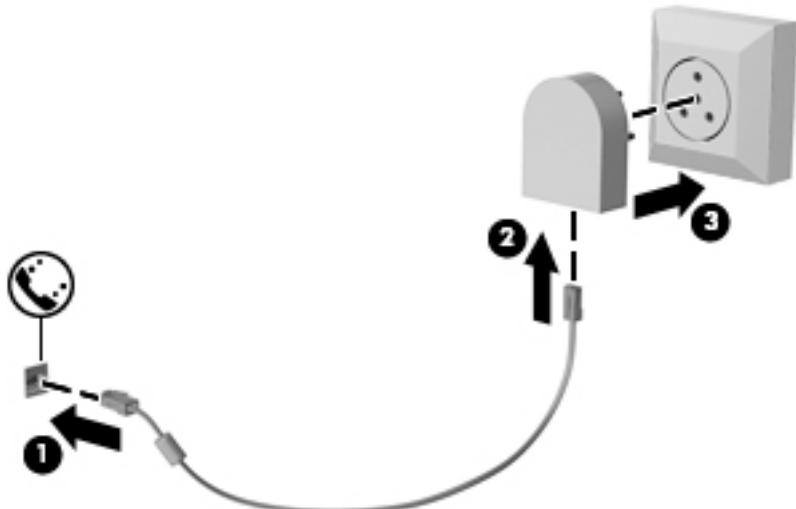


各国または地域仕様のモデム ケーブル アダプターの接続

モジュラー コンセントは、国や地域によって異なります。モデムおよびモデルケーブルを国や地域の外で使用する場合は、各国または地域仕様のモデム ケーブル アダプターを用意する必要があります。

RJ-11 モデム コネクタ以外のアナログ電話回線用モジュラー コンセントにケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

1. モデム ケーブルをコンピューター本体のモデム コネクタに差し込みます (1)。
2. モデム ケーブルをモデム ケーブル アダプターに接続します (2)。
3. モデム ケーブル アダプターを電話回線用モジュラー コンセントに接続します (3)。



4 画面の操作

以下の方でコンピューター画面を操作できます。

- コンピューター画面で直接タッチジェスチャを使用する（一部の製品のみ）
- タッチパッドでタッチジェスチャを使用する
- キーボードおよび別売のマウスを使用する
- スクリーンキーボードを使用する（一部の製品のみ）
- ポイントスティックを使用する（一部の製品のみ）

タッチパッドおよびタッチスクリーンジェスチャの使用

タッチパッドを使用すると、簡単なタッチジェスチャでコンピューターの画面やポインターを操作できます。タッチパッドの左右のボタンを、外付けマウスの対応するボタンと同様に使用することもできます。タッチスクリーン（一部の製品のみ）で移動するには、この章に記載されているジェスチャを使用して直接画面をタッチします。

また、ジェスチャをカスタマイズしたり、ジェスチャ操作のデモンストレーションを確認したりすることもできます。タスクバーの検索ボックスに「コントロール」と入力して、[コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド]の順に選択します。[デバイスとプリンター]で[マウス]を選択します。

 **注記:** 記載のない場合、タッチジェスチャは、タッチパッド上またはタッチスクリーン（一部の製品のみ）上で使用できます。

タップ

タップ/ダブルタップジェスチャを使用すると、画面上の項目を選択したり開いたりできます。

- 画面上の項目にマウスカーソルを合わせてから、タッチパッドゾーンまたはタッチスクリーンを1本の指で軽く叩いてその項目を選択します。項目を2回続けて軽く叩いて（「ダブルタップ」と言います）開きます。



2本指ピンチズーム

2本指ピンチズームを使用すると、画像やテキストをズームイン（拡大）またはズームアウト（縮小）できます。

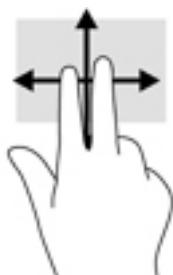
- タッチパッドゾーンまたはタッチスクリーン上で2本の指を互いに離した状態にして置き、その2本の指の間隔を狭めるとズームアウト（縮小）できます。
- タッチパッドゾーンまたはタッチスクリーン上で2本の指を一緒に状態にして置き、その2本の指の間隔を広げるとズームイン（拡大）できます。



2本指スクロール（タッチパッドのみ）

2本指スクロールを使用すると、ページや画像内を上下左右に移動できます。

- 2本の指を少し離してタッチパッドゾーン上に置き、上下左右に動かします。



2本指タップ（タッチパッドのみ）

2本指タップを使用すると、画面上の項目のメニューを開くことができます。

 **注記：**2本指タップでは、マウスを右クリックしたときと同じ機能が実行されます。

- 2本の指でタッチパッドゾーンを軽く叩くと、選択したオブジェクトのオプションメニューが表示されます。



4 本指タップ（タッチパッドのみ）

4 本指タップを使用すると、[アクションセンター]を開くことができます。

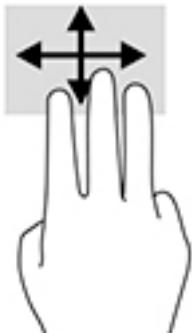
- 4 本の指でタッチパッドを軽く叩くと、[アクションセンター]が開き、現在の設定および通知が表示されます。



3 本指スワイプ（タッチパッドのみ）

3 本の指を滑らせると、開いているウィンドウを表示したり、開いているウィンドウとデスクトップを切り替えたりできます。

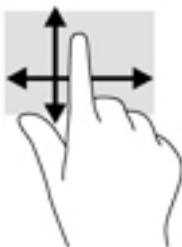
- 3 本の指を手前から奥に滑らせると、開いているすべてのウィンドウが表示されます。
- 3 本の指を奥から手前に滑らせると、デスクトップが表示されます。
- 3 本の指を左または右に滑らせると、開いているウィンドウが切り替わります。



1本指スライド（タッチスクリーンのみ）

1本指スライドを使用すると、一覧やページを上下左右にスクロールしたり、オブジェクトを移動させたりできます。

- 画面をスクロールするには、画面上で移動したい方向に1本の指を軽く滑らせます。
- オブジェクトを移動させるには、オブジェクトをタップしたままの状態で指を滑らせます。



キーボードおよび別売のマウスの使用

キーボードおよびマウスを使用すると、入力、項目の選択、スクロールができ、タッチジェスチャを使用する場合と同じ機能の実行が可能です。キーボードを使用すると、操作キーおよびキーの組み合わせを使って特定の機能も実行できます。

 **注記:** 国または地域によっては、キーボードに含まれるキーおよびキーボード機能がこの項目での説明と異なる場合もあります。

内蔵テンキーの使用（一部の製品のみ）

お使いのコンピューターには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。内蔵テンキーの場所について詳しくは、[14ページの特別なファンクションキー](#)を参照してください。

名称	説明
num lk キー	内蔵テンキーの機能を制御します。このキーを押して、外付けテンキーに含まれる標準の数字入力機能（出荷時設定ではオンになっています）とナビゲーション機能（キーの矢印の方向で示されます）を切り替えます 注記: テンキー機能がコンピューターの電源を切ったときに有効だった場合は、次回コンピューターの電源を入れたときにも有効になっています
内蔵テンキー	外付けテンキーと同じように機能するように出荷時に設定されています。外付けテンキーの Num Lock の数字入力機能とナビゲーション機能（矢印の方向キーで示されます）を切り替えるには、num lk キーを押します

5 エンターテインメント機能

HP コンピューターを仕事や遊びに使用して、Web カメラ経由で他のユーザーと話をしたり、オーディオとビデオを組み合わせたり、プロジェクター、モニター、テレビ、およびスピーカーなどの外付けデバイスを接続したりできます。お使いのコンピューターのオーディオ、ビデオ、およびカメラ機能を確認するには、[4 ページの「各部の名称と機能概要」](#)を参照してください。

Web カメラの使用（一部の製品のみ）

お使いのコンピューターには、動画を録画したり、写真を撮影したりする Web カメラ（内蔵カメラ）があります。一部のモデルでは、動画のストリーミングによるビデオ会議やオンライン チャットができます。

- ▲ カメラにアクセスするには、タスクバーの検索ボックスで「カメラ」と入力して、アプリケーションの一覧から[\[カメラ\]](#)を選択します。

オーディオの使用

音楽のダウンロードや再生、Web 上のオーディオコンテンツ（ラジオなど）のストリーミング、オーディオの録音、オーディオとビデオの組み合わせによるマルチメディアの作成などが可能です。コンピューターで音楽 CD を再生したり（一部のモデル）、外付けオプティカル ドライブを接続して CD を再生したりできます。オーディオを聞く楽しみを広げるには、ヘッドフォンまたはスピーカーを接続します。

スピーカーの接続

有線のスピーカーをコンピューターに接続する場合は、コンピューターまたはドッキングステーションの USB ポートまたはオーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コンボコネクタに接続します。

無線スピーカーをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。HD 対応スピーカーをコンピューターに接続するには、[33 ページの HDMI オーディオの設定](#)を参照します。スピーカーを接続する前に、音量設定を下げます。

ヘッドフォンの接続

⚠ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量設定を下げるからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

このガイドを表示するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して[\[HP Support Assistant\]](#)アプリを選択します。
または
タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします。
2. [\[自分の PC\] → \[仕様\] タブ → \[ユーザー ガイド\]](#)の順に選択します。

有線のヘッドフォンは、コンピューターのオーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コンボコネクタに接続できます。

無線のヘッドフォンをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

ヘッドセットの接続

⚠️ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量設定を下げてからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

このガイドを表示するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して**[HP Support Assistant]**アプリを選択します。
または
タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします。
2. **[自分の PC]→[仕様]タブ→[ユーザー ガイド]**の順に選択します。

マイク付きのヘッドフォンはヘッドセットと呼ばれます。有線のヘッドセットは、コンピューターのオーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コンボコネクタまたはUSBポートに接続できます。

無線ヘッドセットをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

サウンド設定の使用

サウンド設定を使用して、システム音量の調整、システムサウンドの変更、またはオーディオデバイスの管理を行います。

サウンド設定を表示または変更するには、以下の操作を行います。

- ▲ タスクバーの検索ボックスに「コントロール」と入力して、**[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]**の順に選択します。
または
[スタート]ボタンを右クリックし、**[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]**の順に選択します。

お使いのコンピューターには、Bang & Olufsen、HP Audio、Beats Audio 等による高度なサウンドシステムが含まれている場合があります。そのため、お使いのコンピューターには、お使いのオーディオシステムに固有のオーディオコントロールパネルで制御できる高度なオーディオ機能が搭載されている場合があります。

オーディオコントロールパネルを使用して、オーディオの設定を表示および調整します。

- ▲ タスクバーの検索ボックスに「コントロール」と入力して、**[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]の順に選択し、お使いのシステムに固有のオーディオコントロールパネルを選択します。
または
[スタート]ボタンを右クリックして、**[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]の順に選択し、お使いのシステムに固有のオーディオコントロールパネルを選択します。****

動画の視聴

お使いのコンピューターはパワフルなビデオデバイスであり、お気に入りの Web サイトの動画のストリーミングを視聴したり、動画や映画をダウンロードしてネットワークに接続していないときにコンピューター上で視聴したりできます。

コンピューターのビデオコネクタのどれかに外付けモニター、プロジェクター、またはテレビを接続することで、視聴の楽しみが広がります。

 **重要:** 外付けデバイスが、正しいケーブルを使用してコンピューター上の正しいコネクタに接続されていることを確認してください。デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

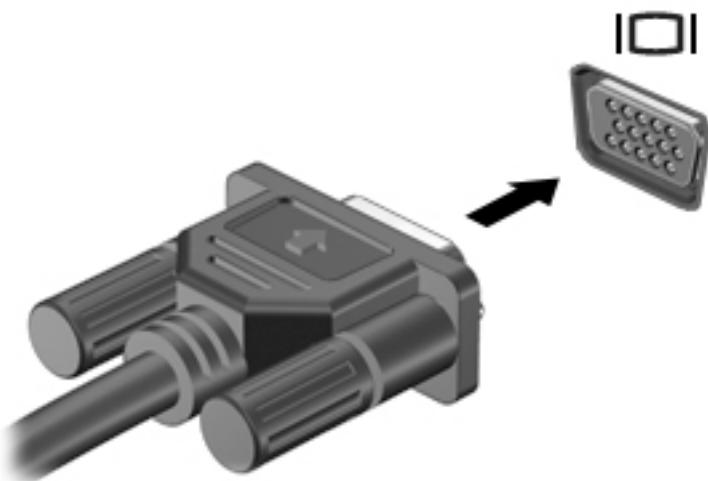
ビデオ機能の使用について詳しくは、[HP Support Assistant]を参照してください。

VGA ケーブルを使用したビデオデバイスの接続（一部の製品のみ）

 **注記:** VGA ビデオデバイスをコンピューターに接続するには、別売の VGA ケーブルが必要です。

コンピューターの表示画面をモニターやプロジェクターなどの外付けの VGA モニターまたはプロジェクターに切り替えてプレゼンテーションを行うには、モニターまたはプロジェクターをコンピューターの VGA コネクタに接続します。

1. モニターまたはプロジェクターとコンピューターの VGA コネクタを、以下の図のように VGA ケーブルで接続します。



2. **fn + f4** キーを押すと、表示画面が以下の 4 つの表示状態の間で切り替わります。

- **PC 画面のみ**：コンピューター本体の画面にのみ表示します。
- **複製**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方の画面に同時に表示します。
- **拡張**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方にわたって画像を拡張します。
- **セカンドスクリーンのみ**：外付けデバイスの画面にのみ表示します。

fn + f4 キーを押すたびに、表示状態が切り替わります。

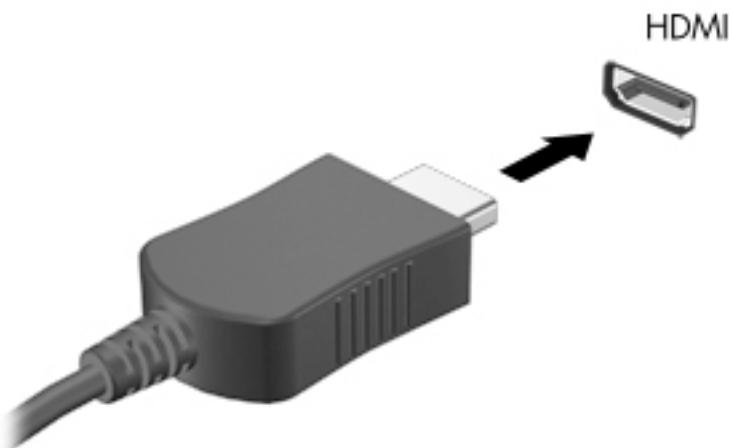
 **注記:** 最適な状態で使用するには、以下の操作を行って外付けデバイスの解像度を上げてください（特に[拡張]オプションを選択した場合）。タスクバーの検索ボックスに「コントロール」と入力して、[コントロールパネル]→[デスクトップのカスタマイズ]の順に選択します。[ディスプレイ]で[画面の解像度の調整]を選択します。

HDMI ケーブルを使用したビデオ デバイスの接続（一部の製品のみ）

 **注記：**HDMI デバイスをコンピューターに接続するには、別売の HDMI ケーブルが必要です。

HD 対応のテレビまたはモニターでコンピューターの表示画面を見るには、以下の手順に従って HD 対応のデバイスを接続します。

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピューターの HDMI 出力端子に接続します。



 **注記：**HDMI 端子の形状は、モデルによって異なります。

2. ケーブルのもう一方の端を HD 対応のテレビまたはモニターに接続します。
3. **fn + f4** キーを押すと、コンピューターの表示画面が以下の 4 つの表示状態の間で切り替わります。
 - **PC 画面のみ**：コンピューター本体の画面にのみ表示します。
 - **複製**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方の画面に同時に表示します。
 - **拡張**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方にわたって画像を拡張します。
 - **セカンドスクリーンのみ**：外付けデバイスの画面にのみ表示します。**fn + f4** キーを押すたびに、表示状態が切り替わります。

 **注記：**最適な状態で使用するには、以下の操作を行って外付けデバイスの解像度を上げてください（特に[拡張]オプションを選択した場合）。タスクバーの検索ボックスに「コントロール」と入力して、[コントロールパネル]→[デスクトップのカスタマイズ]の順に選択します。[ディスプレイ]で[画面の解像度の調整]を選択します。

HDMI オーディオの設定

HDMI は、HD 対応のビデオおよびオーディオをサポートするビデオインターフェイスです。HDMI 対応のテレビをコンピューターに接続した後、以下の操作を行って HDMI オーディオをオンにできます。

1. タスクバーの右端の通知領域にある**【スピーカー】**アイコンを右クリックし、**【再生デバイス】**を選択します。
2. **【再生】**タブで、デジタル出力デバイスの名前を選択します。
3. **【既定値に設定】**→**【OK】**の順にクリックします。

オーディオの再生をコンピューターのスピーカーに戻すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある【スピーカー】アイコンを右クリックし、【再生デバイス】をクリックします。
2. 【再生】タブで、【スピーカー/ヘッドフォン】をクリックします。
3. 【既定値に設定】→【OK】の順にクリックします。

Miracast 対応無線ディスプレイの検出および接続（一部の製品のみ）

使用中のアプリを終了することなく Miracast 対応無線ディスプレイを検出および接続するには、以下の操作を行います。

以下の操作を行って、Miracast を利用できるようにします。

- ▲ タスクバーの検索ボックスに「セカンド スクリーン」と入力し、【セカンドスクリーンに表示する】をクリックします。【ワイヤレスディスプレイに接続する】をクリックし、画面の説明に沿って操作します。

6 電源の管理

 **注記：**コンピューターには、電源ボタンまたは電源スイッチがあります。このガイドで使用する「電源ボタン」という用語は、両方の種類の電源コントロールを指します。

コンピューターのシャットダウン

 **△注意：**コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。

[シャットダウン]コマンドはオペレーティングシステムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源を切ります。

以下の場合は、コンピューターをシャットダウンします。

- バッテリを交換したりコンピューター内部の部品に触れたりする必要がある場合
- USB (Universal Serial Bus) ポート以外のコネクタに外付けハードウェアデバイスを接続する場合
- コンピューターを長期間使用せず、外部電源から切斷する場合

電源ボタンでコンピューターの電源を切ることもできますが、Windows の[シャットダウン]コマンドを使用した以下の手順をおすすめします。

 **注記：**コンピューターがスリープまたは休止状態（一部の製品のみ）の場合は、シャットダウンをする前に電源ボタンを短く押して、スリープまたは休止状態を終了する必要があります。

1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. [スタート]ボタン→[電源]アイコン→[シャットダウン]の順に選択します。

コンピューターが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の操作を記載されている順に試みて緊急シャットダウンを行います。

- `ctrl + alt + delete` キーを押します。[電源]アイコン→[シャットダウン]の順に選択します。
- 電源ボタンを 5 秒程度押し続けます。
- コンピューターを外部電源から切り離します。
- 電源ボタンを 15 秒程度押したままにします。

電源オプションの設定

 **△注意：**コンピューターがスリープ状態のときに問題が発生する可能性がある既知の脆弱性があります。お使いのコンピューターのデータへの不正アクセスを防ぐため、データが暗号化されていたとしても、コンピューターから物理的に離れる場合は、スリープではなく必ず休止状態にすることをおすすめします。特に、コンピューターを持ち運ぶ場合にこの操作は重要です。

省電力設定の使用

スリープは、出荷時に有効に設定されています。スリープを開始すると、電源ランプが点滅し、画面表示が消えます。作業中のデータがメモリに保存されます。

 **注意：**オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、または情報の損失を防ぐため、ディスクや外付けメディアカードの読み取りまたは書き込み中にスリープを開始しないでください。

 **注記：**コンピューターがスリープ状態の間は、どのような種類のネットワーク接続もコンピューター機能も開始できません。

スリープの開始および終了

コンピューターの電源が入っているときにスリープを開始するには、以下のどちらかの操作を行います。

- 電源ボタンを短く押します。
- [スタート]ボタン→[電源]アイコン→[スリープ]の順に選択します。

スリープを終了するには、電源ボタンを短く押します。

コンピューターがスリープを終了すると電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

 **注記：**復帰するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

ユーザー起動の休止状態の開始および終了（一部の製品のみ）

[電源オプション]を使用すると、ユーザーが休止状態を開始できるようにしたり、その他の電源設定およびタイムアウトを変更したりできます。

- タスクバーの検索ボックスで「電源オプション」と入力して[電源オプション]を選択します。

または

[電源メーター]アイコン  を右クリックして[電源オプション]を選択します。

- 左側の枠内で、[電源ボタンの動作を選択する]を選択します。

- [現在利用可能ではない設定を変更します]を選択してから、[電源ボタンを押したときの動作]領域または[スリープボタンを押したときの動作]領域で、[休止状態]を選択します。

または

[シャットダウン設定]で、[休止状態]ボックスを選択して[電源]メニューに[休止状態]オプションを表示します。

- [変更の保存]を選択します。

休止状態を終了するには、電源ボタンを短く押します。電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

 **注記：**復帰するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

電源メーターおよび電源設定の使用

電源メーターは、Windows デスクトップにあります。電源メーターを使用すると、すばやく電源設定にアクセスしたり、バッテリ充電残量を表示したりできます。

- 充電残量率を表示するには、[電源メーター]アイコン  にマウスカーソルを合わせします。
- [電源オプション]を使用するには、[電源メーター]アイコン  を右クリックして一覧から項目を選択します。タスクバーの検索ボックスで「電源オプション」と入力して[電源オプション]を選択することもできます。

コンピューターがバッテリ電源で動作しているか外部電源で動作しているかは、[電源メーター]アイコンの形の違いで判断できます。アイコンには、バッテリがロー バッテリ状態または完全なロー バッテリ状態になった場合にそのメッセージも表示されます。

復帰時のパスワード保護の設定

スリープまたは休止状態が終了したときにパスワードの入力を求めるようにコンピューターを設定するには、以下の操作を行います。

- タスクバーの検索ボックスで「電源オプション」と入力して[電源オプション]を選択します。
- または
- [電源メーター]アイコン  を右クリックして[電源オプション]を選択します。
- 左側の枠内で、[スリープ解除時のパスワード保護]を選択します。
- [現在利用可能ではない設定を変更します]を選択します。
- [パスワードを必要とする(推奨)]を選択します。

 **注記:** ユーザー アカウント パスワードを作成したり、現在のユーザー アカウント パスワードを変更したりする場合は、[ユーザー アカウント パスワードの作成または変更]を選択してから、画面に表示される説明に沿って操作します。ユーザー アカウント パスワードを作成または変更する必要がない場合は、手順 5 に進んでください。

- [変更の保存]を選択します。

バッテリ電源の使用

 **警告!** けがや事故、および機器の故障などの安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピューターに付属しているバッテリ、HP が提供する交換用バッテリ、または HP から購入した対応するバッテリを使用してください。

外部電源に接続されていない場合、コンピューターはバッテリ電源で動作します。コンピューターのバッテリは消耗品です。バッテリ電源での駆動時間およびバッテリの寿命は、電源管理の設定、動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。コンピューターを外部電源に接続している間、常にバッテリを装着しておけば、バッテリは充電されるため、停電した場合でも作業データを守ることができます。充電済みのバッテリが装着され、外部電源に接続されているコンピューターが外部電源で動作している場合、AC アダプターを取り外すか、または外部電源が切断されると、電源が自動的にバッテリ電源に切り替わります。

 **注記：**外部電源の接続を外すと、バッテリ電源での駆動時間を延ばすために自動的に画面の輝度が下がります。一部の製品のコンピューターでは、グラフィックスモードを切り替えてバッテリでの駆動時間を延ばすことができます。

バッテリに関する詳細情報の確認

バッテリ情報にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して**[HP Support Assistant]**アプリを選択します。

または

タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします。

2. **[自分の PC]→[診断とツール]タブ→[HP バッテリ チェック]**の順に選択します。[HP バッテリ チェック]にバッテリを交換する必要があると表示されている場合は、使用を中止し、バッテリの交換について HP のサポート窓口にお問い合わせください。

[HP Support Assistant]では、バッテリに関する以下のツールおよび情報が提供されます。

- バッテリの性能をテストするための[HP バッテリ チェック]ツール
- バッテリ電源での駆動時間を延ばすための、バッテリ ゲージの調整、電源管理、および適切な取り扱いと保管に関する情報
- バッテリの種類、仕様、ライフサイクル、および容量に関する情報

[HP バッテリ チェック]の使用

バッテリの状態を確認する場合、またはバッテリが充電されなくなった場合は、[HP Support Assistant]アプリケーションで[HP バッテリ チェック]を実行してください。[HP バッテリ チェック]にバッテリを交換する必要があると表示されている場合は、使用を中止し、バッテリの交換について HP のサポート窓口にお問い合わせください。

[HP バッテリ チェック]を実行するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプターをコンピューターに接続します。

 **注記：**[HP バッテリ チェック]を正常に動作させるため、コンピューターを外部電源に接続しておく必要があります。

2. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して**[HP Support Assistant]**アプリを選択します。

または

タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします。

3. **[自分の PC]→[診断とツール]タブ→[HP バッテリ チェック]**の順に選択します。[HP バッテリ チェック]にバッテリを交換する必要があると表示されている場合は、使用を中止し、バッテリの交換について HP のサポート窓口にお問い合わせください。

[HP バッテリ チェック]は、バッテリとそのセルを検査して、バッテリとそのセルが正常に機能しているかどうかを確認し、検査の結果を表示します。

バッテリ充電残量の表示

- ▲ [電源メーター]アイコン  の上にポインターを移動します。

バッテリの放電時間の最長化

バッテリの放電時間は、バッテリ電源で動作しているときに使用する機能によって異なります。バッテリの容量は自然に低下するため、バッテリの最長放電時間は徐々に短くなります。

バッテリの放電時間を長く保つには、以下の点に注意してください。

- ディスプレイの輝度を下げます。
- [電源オプション]で[省電力]設定を選択します。

ロー バッテリ状態への対処

ここでは、出荷時に設定されている警告メッセージおよびシステム応答について説明します。ロー バッテリ状態の警告とシステム応答の設定は、[電源オプション]で変更できます。[電源オプション]を使用した設定は、ランプの状態には影響しません。

タスクバーの検索ボックスで「電源オプション」と入力して[電源オプション]を選択します。

ロー バッテリ状態の確認

コンピューターの電源としてバッテリのみを使用しているときにバッテリがロー バッテリ状態または完全なロー バッテリ状態になった場合は、以下のようになります。

- バッテリ ランプ（一部の製品のみ）が、ロー バッテリ状態または完全なロー バッテリ状態になっていることを示します。

または

- [電源メーター]アイコン  が、ロー バッテリ状態または完全なロー バッテリ状態になっていることを通知します。

コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときに完全なロー バッテリ状態になると、短い時間スリープ状態に移行または維持した後、システムが終了します。このとき、保存されていない情報は失われます。

ロー バッテリ状態の解決

外部電源を使用できる場合のロー バッテリ状態への対処方法

- ▲ 以下のデバイスのどれかをコンピューターおよび外部電源に接続します。
- AC アダプター
 - 別売のドッキング デバイスまたは拡張製品
 - HP からオプション製品として購入した電源アダプター

外部電源を使用できない場合のロー バッテリ状態への対処方法

電源を使用できない場合にロー バッテリ状態を解決するには、作業中のデータを保存してからコンピューターをシャットダウンします。

バッテリの節電

- タスクバーの検索ボックスで「電源オプション」と入力して[電源オプション]を選択します。
- または
- [電源オプション]で低消費電力設定を選択します。

- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続と LAN 接続をオフにして、モデムを使用するアプリケーションを使用後すぐに終了します。
- 外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、使用していないものをコンピューターから取り外します。
- 使用していない外付けメディアカードを停止するか、無効にするか、または取り出します。
- 画面の輝度を下げます。
- しばらく作業を行わないときは、スリープを開始するか、コンピューターの電源を切ります。

バッテリの処分

バッテリは消耗品です。バッテリが寿命に達した場合、そのバッテリを一般の家庭ごみと一緒に処分しないでください。コンピューターの使用済みのバッテリは、お住まいの地域の地方自治体の条例または規則に従って、正しく処分してください。

バッテリの交換

この製品のバッテリは、ユーザー自身で簡単に交換することはできません。バッテリを取り外したり交換したりすると、保証が適用されない場合があります。バッテリが充電されなくなった場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

外部電源の使用

 **警告！** 安全に関する問題の発生を防ぐため、コンピューターを使用する場合は、コンピューターに付属している AC アダプター、HP が提供する交換用 AC アダプター、または HP から購入した対応する AC アダプターだけを使用してください。

 **注記：**外部電源の接続について詳しくは、コンピューターに付属の『セットアップ手順』ポスターを参照してください。

外部電源は、純正の AC アダプター、または別売のドッキング デバイスや拡張製品を通じてコンピューターに供給されます。

以下のどれかの条件に当てはまる場合はコンピューターを外部電源に接続してください。

- バッテリを充電するか、バッテリ ゲージを調整する場合
- システムソフトウェアをインストールまたは変更する場合
- CD、DVD、または BD に情報を書き込む場合（一部の製品のみ）
- [ディスク デフラグ]を実行する場合
- バックアップまたは復元を実行する場合

コンピューターを外部電源に接続すると、以下のようになります。

- バッテリの充電が開始されます。
- コンピューターの電源が入ると、タスクバーの[電源メーター]アイコンの表示が変わります。

外部電源の接続を外すと、以下のようになります。

- コンピューターの電源がバッテリに切り替わります。
- バッテリ電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。

7 セキュリティ

コンピューターの保護

Windows オペレーティングシステムおよび Windows 以外の[Computer Setup]ユーティリティ (BIOS) によって提供される標準のセキュリティ機能により、個人設定およびデータをさまざまなりスクから保護できます。

-  **注記:** セキュリティロックケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの誤った取り扱いや盗難を完全に防ぐものではありません。
-  **注記:** コンピューターを修理などのためにサポート宛てに送付する場合は、機密性の高いファイルのバックアップと削除、およびすべてのパスワード設定の削除を事前に行ってください。
-  **注記:** この章に記載されている一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。
-  **注記:** お使いのコンピューターでは、オンラインセキュリティベースの追跡および復元サービスである[Computrace]がサポートされています（一部の地域のみ）。コンピューターが盗難に遭ったりコンピューターを紛失したりしたときに、不正なユーザーがそのコンピューターからインターネットにアクセスすると、[Computrace]による追跡が行われます。[Computrace]を使用するには、ソフトウェアを購入し、サービス登録を行う必要があります。[Computrace]ソフトウェアの購入については、<http://www.hp.com/jp/> を参照してください。

コンピューターでの危険性	セキュリティ機能
コンピューターの不正な使用	パスワード、スマートカード、非接触型カード、登録した指紋、またはその他の認証資格情報と、[HP Client Security]の組み合わせ
[Computer Setup] (BIOS) への不正アクセス	[Computer Setup]の BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) *
ハードドライブのデータへの不正なアクセス	[Computer Setup]の DriveLock パスワード（一部の製品のみ）*
別売の外付けオプティカルドライブ（一部の製品のみ）、別売の外付けハードドライブ（一部の製品のみ）、または内蔵ネットワークアダプターからの不正な起動	[Computer Setup]の[Boot options]（ブートオプション）機能*
Windows ユーザー アカウントへの不正なアクセス	Windows ユーザー パスワード
データへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none">• [HP Drive Encryption]ソフトウェア• Windows Defender
[Computer Setup]設定などのシステム識別情報への不正なアクセス	[Computer Setup]の BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) *
コンピューターの不正な移動	セキュリティロックケーブル用スロット（別売のセキュリティロックケーブルとともに使用）（一部の製品のみ）

* [Computer Setup]は、プリインストールされている ROM ベースのユーティリティです。オペレーティングシステムが動かなかったり読み込まれなかったりする場合でも使用できます。[Computer Setup]で項目間を移動したり項目を選択したりするには、ポインティングデバイス（タッチパッド、ポイントスティック、または USB マウス）またはキーボードを使用します。

注記 : キーボードが取り付けられていないタブレットでは、タッチスクリーンを使用できます。

パスワードの使用

パスワードとは、お使いのコンピューターの情報を保護するために選択する文字列です。情報へのアクセスの制御方法に応じてさまざまな種類のパスワードを選択できます。パスワードは、Windows およびコンピューターにプリインストールされている[Computer Setup]で設定できます。

- BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) および DriveLock パスワードは[Computer Setup]で設定され、システム BIOS によって管理されます。
- Windows パスワードは、Windows オペレーティング システムでのみ設定されます。
- [Computer Setup]で設定した DriveLock の user password (ユーザー パスワード) および DriveLock の master password (マスター パスワード) の両方を忘れてしまうと、これらのパスワードで保護されているハードドライブがロックされたままになり、恒久的に使用できなくなります。

[Computer Setup]の機能と Windows のセキュリティ機能には、同じパスワードを使用できます。また、複数の[Computer Setup]機能に同じパスワードを使用することもできます。

パスワードを作成したり保存したりするときは、以下のヒントを参考にしてください。

- パスワードを作成するときは、プログラムの要件に従ってください。
- 同じパスワードを複数のアプリケーションや Web サイトに使用しないでください。また、Windows パスワードを他のアプリケーションや Web サイトに再利用しないでください。
- [HP Client Security]の[Password Manager]機能を使用すると、Web サイトやアプリケーションに対するユーザー名およびパスワードを保存しておけます。それらのユーザー名やパスワードを思い出せなくなった場合に、安全に読み出すことができます。
- パスワードをコンピューター上のファイルに保存しないでください。

以下の表で、一般に使用される Windows パスワードおよび BIOS administrator password を示し、それぞれの機能について説明します。

Windows でのパスワードの設定

パスワード	機能
管理者パスワード*	Windows の管理者レベルのアカウントへのアクセスを保護します 注記 : Windows の管理者パスワードを設定しても、BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) は設定されません
ユーザー パスワード*	Windows ユーザー アカウントへのアクセスを保護します

* Windows の管理者パスワードまたは Windows のユーザー パスワードの設定については、タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant]アプリを選択します。

[Computer Setup]でのパスワードの設定

パスワード	機能
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) *	[Computer Setup]へのアクセスを保護します 注記 : BIOS administrator password の削除を防ぐ機能が有効になっている場合、その機能が無効にされるまでは削除できないことがあります
DriveLock の master password (マスター パスワード) *	DriveLock によって保護されている内蔵ハードドライブへのアクセスを保護します。また、DriveLock による保護の解除に使用します 注記 : 一部の製品では、DriveLock パスワードを設定できるようにするために、BIOS administrator password を設定する必要があります
DriveLock の user password (ユーザー パスワード) *	DriveLock によって保護されている内蔵ハードドライブへのアクセスを保護します。DriveLock パスワードを有効にする操作の過程で設定します 注記 : 一部の製品では、DriveLock パスワードを設定できるようにするために、BIOS administrator password を設定する必要があります

* 各パスワードについて詳しくは、以下の項目を参照してください。

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の管理

パスワードを設定、変更、および削除するには、以下の操作を行います。

新しい BIOS administrator password の設定

1. [Computer Setup]を開始します。
 - キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット：
 - ▲ コンピューターの電源を入れるか再起動し、HP のロゴが表示されたら **f10** キーを押して[Computer Setup]を起動します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレット：
 - ▲ タブレットの電源を切ります。電源ボタンと音量下げボタンを同時に押し、スタートアップメニューが表示されたら**[f10]**を選択して[Computer Setup]を起動します。
2. [Security] (セキュリティ) →[Create BIOS Administrator Password] (BIOS 管理者パスワードの作成) または[Set Up BIOS Administrator Password] (BIOS 管理者パスワードの設定) (一部の製品のみ) の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. メッセージが表示されたら、パスワードを入力します。
4. メッセージが表示されたら、確認のために新しいパスワードを再度入力します。
5. 変更を保存してから[Computer Setup]を終了するには、[Save] (保存) アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

または

[Main] (メイン) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

BIOS administrator password の変更

1. [Computer Setup]を開始します。

- キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット：
 - ▲ コンピューターの電源を入れるか再起動し、HP のロゴが表示されたら **f10** キーを押して[Computer Setup]を起動します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレット：
 - ▲ タブレットの電源を切ります。電源ボタンと音量下げボタンを同時に押し、スタートアップメニューが表示されたら [**f10**] を選択して[Computer Setup]を起動します。
2. **[Security]** (セキュリティ) → **[Change BIOS Administrator Password]** (BIOS 管理者パスワードの変更) または **[Change Password]** (パスワードの変更) (一部の製品のみ) の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. メッセージが表示されたら、現在のパスワードを入力します。
4. メッセージが表示されたら、新しいパスワードを入力します。
5. メッセージが表示されたら、確認のために新しいパスワードを再度入力します。
6. 変更を保存してから[Computer Setup]を終了するには、**[Save]** (保存) アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。
- または
- [Main]→[Save Changes and Exit]** (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。
- 変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。
- #### BIOS administrator password の削除
1. [Computer Setup]を開始します。
- キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット：
 - ▲ コンピューターの電源を入れるか再起動し、HP のロゴが表示されたら **f10** キーを押して[Computer Setup]を起動します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレット：
 - ▲ タブレットの電源を切ります。電源ボタンと音量下げボタンを同時に押し、スタートアップメニューが表示されたら [**f10**] を選択して[Computer Setup]を起動します。
2. **[Security]** (セキュリティ) → **[Change BIOS Administrator Password]** (BIOS 管理者パスワードの変更) または **[Change Password]** (パスワードの変更) (一部の製品のみ) の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. メッセージが表示されたら、現在のパスワードを入力します。
4. 新しいパスワードを入力するように要求されたら、フィールドを空欄のままにして **enter** キーを押します。
5. 再度、新しいパスワードを入力するように要求されたら、フィールドを空欄のままにして、**enter** キーを押します。
6. 変更を保存してから[Computer Setup]を終了するには、**[Save]** (保存) アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。
- または
- [Main]→[Save Changes and Exit]** (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。
- 変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の入力

[BIOS Administrator password] (BIOS 管理者パスワード) の入力画面でパスワードを設定したときと同じキーを使用して自分のパスワードを入力し、[enter](#) キーを押します。2回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動して入力しなおす必要があります。

[Computer Setup]の DriveLock パスワードの管理 (一部の製品のみ)

⚠ 注意 : DriveLock で保護されているハードドライブが恒久的に使用できなくなることを防ぐため、DriveLock の user password (ユーザー パスワード) と master password (マスター パスワード) を、紙などに書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておいてください。DriveLock パスワードを両方とも忘れてしまうと、これらのパスワードで保護されているハードドライブがロックされたままになります、恒久的に使用できなくなります。

DriveLock で保護することによって、ハードドライブのデータへの不正なアクセスを防止できます。DriveLock による保護は、コンピューターの内蔵ハードドライブにのみ設定できます。いったん DriveLock による保護を設定すると、ドライブにアクセスするときにパスワードの入力が必要になります。DriveLock パスワードでドライブにアクセスするには、ドライブをコンピューターまたはアドバンスト ポート リブリケータに装着しておく必要があります。

DriveLock による保護をコンピューターの内蔵ハードドライブに設定するには、[Computer Setup]で user password および master password を設定しておく必要があります。DriveLock による保護を設定するときは、以下の点に注意してください。

- いったん DriveLock による保護を設定すると、user password または master password のどちらかを入力することでのみ、保護されているハードドライブにアクセスできるようになります。
- user password は、通常システム管理者ではなく実際にハードドライブを使用するユーザーが設定する必要があります。master password は、システム管理者または実際にハードドライブを使用するユーザーが設定できます。
- user password と master password は、同じであってもかまいません。
- DriveLock によるドライブの保護を解除しないと、user password や master password を削除できません。

☞ 注記 : 一部の製品では、DriveLock 機能にアクセスできるようにするために、BIOS administrator password を設定する必要があります。

DriveLock パスワードの設定

[Computer Setup]で DriveLock パスワードを設定するには、以下の操作を行います。

1. [Computer Setup]を開始します。

- キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット：
 1. コンピューターの電源を切ります。
 2. 電源ボタンを押し、HP のロゴが表示されたら [f10](#) キーを押して[Computer Setup]を起動します。
- キーボードが取り付けられていないタブレット：

1. タブレットの電源を切ります。
 2. 電源ボタンと音量下げボタンを同時に押し、スタートアップメニューが表示されたら [f10]を選択して[Computer Setup]を起動します。
 2. [Security] (セキュリティ) → [Hard Drive Utilities] (ハードドライブユーティリティ) または [Hard Drive Tools] (ハードドライブツール) (一部の製品のみ) → [DriveLock] の順に選択し、enter キーを押します。
-
- ☞ **注記**：一部の製品では、DriveLock パスワードの設定および BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の入力が必要になる場合があります。
3. 保護するハードドライブを選択して、enter キーを押します。
 4. [Set DriveLock Master Password] (DriveLock の master password (マスター パスワード) の設定) または [Set DriveLock Password] (DriveLock パスワードの設定) (一部の製品のみ) を選択し、enter キーを押します。
 5. 警告メッセージをよくご確認ください。
 6. 画面の説明に沿って操作し、DriveLock パスワードを設定します。
 7. [Computer Setup]を終了するには、[Main] (メイン) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) → [Yes] (はい) の順に選択します。

DriveLock の有効化 (一部の製品のみ)

一部の製品では、以下の操作を行って DriveLock を有効にすることが必要になる場合があります。

1. [Computer Setup]を開始します。
 - キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット：
 1. コンピューターの電源を切ります。
 2. 電源ボタンを押し、HP のロゴが表示されたら f10 キーを押して[Computer Setup]を起動します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレット：
 1. タブレットの電源を切ります。
 2. 電源ボタンと音量下げボタンを同時に押し、スタートアップメニューが表示されたら [f10]を選択して[Computer Setup]を起動します。
 2. [Security] (セキュリティ) → [Hard Drive Utilities] (ハードドライブユーティリティ) または [Hard Drive Tools] (ハードドライブツール) (一部の製品のみ) → [DriveLock] の順に選択し、enter キーを押します。
-
- ☞ **注記**：一部の製品では、BIOS Administrator password (BIOS 管理者パスワード) の入力および [Set DriveLock Password] (DriveLock パスワードの設定) の選択が必要になる場合があります。
3. 保護するハードドライブを選択して、enter キーを押します。
 4. 画面の説明に沿って操作して DriveLock を有効にし、メッセージが表示されたらパスワードを入力します。

 **注記：**一部の製品では、「DriveLock」と入力することが必要になる場合があります。このフィールドでは大文字と小文字が区別されます。

5. [Computer Setup]を終了するには、[Main] (メイン) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) → [Yes] (はい) の順に選択します。

DriveLock の無効化 (一部の製品のみ)

1. [Computer Setup]を開始します。
 - キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレット：
 1. コンピューターの電源を切ります。
 2. 電源ボタンを押し、HP のロゴが表示されたら **f10** キーを押して[Computer Setup]を起動します。
 - キーボードが取り付けられていないタブレット：
 1. タブレットの電源を切ります。
 2. 電源ボタンと音量下げボタンを同時に押し、スタートアップメニューが表示されたら [**f10**]を選択して[Computer Setup]を起動します。
2. [Security] (セキュリティ) → [Hard Drive Utilities] (ハードドライブユーティリティ) または [Hard Drive Tools] (ハードドライブツール) (一部の製品のみ) → [DriveLock] の順に選択し、**enter** キーを押します。

 **注記：**一部の製品では、BIOS Administrator password (BIOS 管理者パスワード) の入力および [Set DriveLock Password] (DriveLock パスワードの設定) の選択が必要になる場合があります。
3. 管理するハードドライブを選択して、**enter** キーを押します。
4. 画面に表示される説明に沿って操作し、DriveLock を無効にします。
5. [Computer Setup]を終了するには、[Main] (メイン) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) → [Yes] (はい) の順に選択します。

DriveLock パスワードの入力 (一部の製品のみ)

ハードドライブが、別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなくコンピューター本体のハードドライブベイに装着されていることを確認します。

[DriveLock Password] (DriveLock パスワード) 画面が表示されたら、パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用して user password (ユーザー パスワード) または master password (マスター パスワード) を入力し、**enter** キーを押します。

パスワードを 3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターの電源を切ってから再び起動し、入力しなおしてください。

DriveLock パスワードの変更 (一部の製品のみ)

[Computer Setup]で DriveLock パスワードを変更するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を切ります。
2. 電源ボタンを押します。

3. **[DriveLock Password]** (DriveLock パスワード) 画面が表示されたら、変更する現在の DriveLock の user password (ユーザー パスワード) または master password (マスター パスワード) を入力し、**enter** キーを押してから、**[f10]**を選択して[Computer Setup]を起動します。
 4. **[Security]** (セキュリティ) →**[Hard Drive Utilities]** (ハードドライブ ユーティリティ) または**[Hard Drive Tools]** (ハードドライブ ツール) (一部の製品のみ) →**[DriveLock]**の順に選択し、**enter** キーを押します。
-  **注記** : 一部の製品では、BIOS Administrator password (BIOS 管理者 パスワード) の入力および**[Set DriveLock Password]** (DriveLock パスワードの設定) の選択が必要になる場合があります。
5. 管理するハードドライブを選択して、**enter** キーを押します。
 6. パスワードの変更を選択し、画面の説明に沿って操作してパスワードを入力します。
-  **注記** : **[Change DriveLock Master Password]** オプションは、手順 3 の[DriveLock Password]画面で master password (マスター パスワード) が入力された場合にのみ表示されます。
7. [Computer Setup]を終了するには、**[Main]** (メイン) →**[Save Changes and Exit]** (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の説明に沿って操作します。

[Computer Setup]の自動 DriveLock の使用 (一部の製品のみ)

複数のユーザーがいる環境では、自動 DriveLock パスワードを設定できます。自動 DriveLock パスワードを有効にすると、ランダムな user password (ユーザー パスワード) と DriveLock の master password (マスター パスワード) が作られます。ユーザーのパスワード認証が通ると、同じランダムな user password と DriveLock の master password が使用され、ドライブの保護が解除されます。

 **注記** : 自動 DriveLock 機能にアクセスできるようにするには、BIOS administrator password (BIOS 管理者 パスワード) を設定する必要があります。

自動 DriveLock パスワードの入力 (一部の製品のみ)

[Computer Setup]で自動 DriveLock パスワードを有効にするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に**esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. **[Security]** (セキュリティ) →**[Hard Drive Tools]** (ハードドライブ ツール) →**[Automatic DriveLock]** (自動 DriveLock) の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. BIOS administrator password (BIOS 管理者 パスワード) を入力し、**enter** キーを押します。
5. 内蔵ハードドライブを選択し、**enter** キーを入力します。
6. 警告メッセージが表示されます。操作を続ける場合は、**[Yes]** (はい) を選択します。
7. 変更を保存してから[Computer Setup]を終了するには、**[Save]** (保存) アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

または

[Main] (メイン) →**[Save Changes and Exit]** (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

自動 DriveLock による保護の解除（一部の製品のみ）

[Computer Setup] で DriveLock による保護を解除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に [Press the ESC key for Startup Menu] というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
 2. **f10** キーを押して、[Computer Setup] を起動します。
 3. **[Security]** (セキュリティ) → **[Hard Drive Tools]** (ハードドライブツール) → **[Automatic DriveLock]** (自動 DriveLock) の順に選択し、**enter** キーを押します。
 4. BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) を入力し、**enter** キーを押します。
 5. 内蔵ハードドライブを選択し、**enter** キーを入力します。
 6. **[Disable protection]** (保護を無効にする) を選択します。
 7. 変更を保存してから [Computer Setup] を終了するには、**[Save]** (保存) アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。
- または
- [Main] → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

ウィルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピューターウィルスの危険にさらされる可能性があります。コンピューターウィルスに感染すると、オペレーティングシステム、プログラム、およびユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウィルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウィルスを検出および駆除することができ、通常はウィルスの被害にあった箇所を修復できます。新しく発見されたウィルスからコンピューターを保護するには、ウィルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

お使いのコンピューターには [Windows Defender] がプリインストールされています。ウィルス対策プログラムを引き続き使用して、お使いのコンピューターを確実に保護することを強くおすすめします。

コンピューター ウィルスについて詳しくは、[HP Support Assistant] を参照してください。

ファイアウォールソフトウェアの使用

ファイアウォールは、システムやネットワークへの不正なアクセスを防ぐように設計されています。ファイアウォールには、コンピューターやネットワークにインストールするソフトウェアプログラムもあれば、ハードウェアとソフトウェアの両方から構成されるソリューションもあります。

検討すべきファイアウォールは、次の 2 種類です。

- ホストベースのファイアウォール：インストールされているコンピューターだけを保護するソフトウェアです。
- ネットワークベースのファイアウォール：DSL モデムまたはケーブル モデムとホーム ネットワークの間に設置して、ネットワーク上のすべてのコンピューターを保護します。

ファイアウォールをシステムにインストールすると、そのシステムとの間で送受信されるすべてのデータが監視され、ユーザーの定義したセキュリティ基準と比較されます。セキュリティ基準を満たしていないデータはすべてブロックされます。

お使いのコンピューターまたはネットワーク機器には、ファイアウォールがすでにインストールされている場合があります。インストールされていない場合は、ファイアウォールソフトウェアソリューションを使用できます。

 **注記 :**特定の状況下では、ファイアウォールがインターネットゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

ソフトウェア更新プログラムのインストール

お使いのコンピューターにインストールされている HP、Windows、および他社製ソフトウェアは、セキュリティの問題を修正するため、およびソフトウェアパフォーマンスを向上させるために、定期的に更新する必要があります。

 **重要 :**Microsoft®社は、セキュリティ更新プログラムなどの Windows の更新プログラムに関する通知を配信しています。お使いのコンピューターをセキュリティの侵害やコンピューター ウィルスから保護するため、通知があった場合はすぐに Microsoft 社からのすべてのオンライン更新プログラムをインストールしてください。

これらの更新プログラムは自動でインストールできます。

設定を表示または変更するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]ボタン→[設定]→[更新とセキュリティ]の順に選択します。
2. [Windows Update]を選択し、画面の説明に沿って操作します。
3. 更新プログラムをインストールするスケジュールを設定するには、[詳細オプション]を選択し、画面の説明に沿って操作します。

[HP Client Security]の使用（一部の製品のみ）

[HP Client Security]ソフトウェアは、お使いのコンピューターにプリインストールされています。このソフトウェアにアクセスするには、タスクバーの右端の通知領域にある[HP Client Security]アイコン、またはWindows の[コントロールパネル]を使用します。このソフトウェアが提供するセキュリティ機能は、コンピューター本体、ネットワーク、および重要なデータを不正なアクセスから保護するために役立ちます。詳しくは、[HP Client Security]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP Touchpoint Manager]の使用（一部の製品のみ）

[HP Touchpoint Manager]は、企業が自社の資産を効果的に管理および保護するための、クラウドベースの IT ソリューションです。[HP Touchpoint Manager]によって、マルウェアなどの攻撃からデバイスがさらに保護され、デバイス状態を監視し、エンドユーザー デバイスおよびセキュリティの問題をお客様が解決するための時間を短縮できるようになります。お客様はソフトウェアをすばやくダウンロードしてインストールでき、従来のソリューションに比べて優れた対費用効果が得られます。詳しくは、<http://www.hptouchpointmanager.com/> を参照してください。

別売のセキュリティロックケーブルの使用（一部の製品のみ）

セキュリティロックケーブル（別売）に抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。セキュリティロックケーブルをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

指紋認証システムの使用（一部の製品のみ）

一部の製品では、内蔵の指紋認証システムを使用できます。指紋認証システムを使用するには、[HP Client Security]の[Credential Manager]で指紋を登録する必要があります。[HP Client Security]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[Credential Manager]で指紋を登録すると、[HP Client Security]の[Password Manager]を使用して、対応しているWebサイトやアプリケーションでユーザー名およびパスワードを保存および入力できます。

指紋認証システムの位置

指紋認証システムは小さい金属製センサーで、コンピューターの以下のどこかの場所にあります。

- タッチパッドの下部付近
- キーボードの右側
- ディスプレイの右上
- ディスプレイの左側

製品によって、指紋認証システムは横向きの場合も縦向きの場合もあります。どちらの向きでも、金属製センサーと垂直に指を滑らせる必要があります。

8 メンテナンス

コンピューターを最適な状態に保つには、定期的なメンテナンスを行うことが非常に重要です。この章では、[ディスク デフラグ]や[ディスククリーンアップ]などのツールを使用する方法について説明します。また、プログラムおよびドライバーの更新方法、コンピューターの清掃手順、およびコンピューターの持ち運び（または送付）に関する情報も提供します。

パフォーマンスの向上

[ディスク デフラグ]や[ディスククリーンアップ]などのツールを使用して定期的なメンテナンス作業を実行することにより、コンピューターのパフォーマンスを向上させることができます。

[ディスク デフラグ]の使用

少なくとも 1 か月に 1 度、[ディスク デフラグ]を使用してハードドライブのデフラグを行うことをおすすめします。



注記 : SSD (Solid State Drive) では、[ディスク デフラグ]を実行する必要はありません。

[ディスク デフラグ]を実行するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源に接続します。
2. タスクバーの検索ボックスで、「デフラグ」または「defragment」と入力して[ドライブのデフラグと最適化]を選択します。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

詳しくは、[ディスク デフラグ ツール]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[ディスククリーンアップ]の使用

[ディスククリーンアップ]を使用すると、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

[ディスククリーンアップ]を実行するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで、「ディスク」または「disk」と入力して[ディスククリーンアップ]を選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

[HP 3D DriveGuard]の使用（一部の製品のみ）

[HP 3D DriveGuard]は、以下のどちらかの場合にドライブを一時停止し、データ要求を中止することによって、ハードドライブを保護するシステムです。

- バッテリ電源で動作しているときにコンピューターを落下させた場合
- バッテリ電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピューターを移動した場合

これらの動作の実行後は、[HP 3D DriveGuard]によって、短時間でハードドライブが通常の動作に戻ります。

 **注記 :** 内蔵ハードドライブのみが[HP 3D DriveGuard]によって保護されます。別売のドッキングデバイスに取り付けられているハードドライブやUSBポートに接続されているハードドライブは、[HP 3D DriveGuard]では保護されません。

 **注記 :** SSD (Solid State Drive) には駆動部品がないため、SSDに[HP 3D DriveGuard]は必要ありません。

詳しくは、[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP 3D DriveGuard]の状態の確認

コンピューターのドライブランプの色が変化することによって、メインハードドライブベイまたはセカンドリハードドライブベイ（一部の製品のみ）のディスクドライブが停止していることを示します。Windowsデスクトップで、タスクバーの右端の通知領域にあるアイコンを使用して、ドライブが現在保護されているかどうか、およびドライブが停止しているかどうかを確認できます。

プログラムおよびドライバーの更新

プログラムおよびドライバーを定期的に更新することをおすすめします。更新によって問題が解決し、コンピューターで新しい機能やオプションを使用できるようになります。たとえば、古いグラフィックスコンポーネントは最新のゲームソフトウェアで正しく動作しない場合があります。最新のドライバーがないと、お手持ちの装置を最大限に活用できません。

HPプログラムおよびドライバーの最新バージョンをダウンロードするには、<http://www.hp.com/jp/support>を参照してください。また、このサイトでは、更新プログラムが使用可能になったときに自動的に通知を受け取るように登録することもできます。

プログラムおよびドライバーを更新するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して**[HP Support Assistant]**アプリを選択します。
または
タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします。
2. **[自分のPC]→[更新]タブ→[更新およびメッセージを確認]**の順に選択します。
3. 画面の説明に沿って操作します。

コンピューターの清掃

お使いのコンピューターを安全に清掃するには、以下の製品を使用します。

- 濃度が0.3%までのジメチルベンジル塩化アンモニウム（使い捨てシートなど、これらのシートはさまざまなブランドで販売されています）
- ノンアルコールのガラス用クリーナー
- 水と低刺激性の石けんの混合液
- 乾いたマイクロファイバーのクリーニングクロスまたはセーム皮（油分を含まない、静電気防止布）
- 静電気防止クリーニングシート

△ **注意：**コンピューターに修復できない傷が付いてしまう可能性があるため、強力なクリーニング溶剤は使用しないでください。クリーニング製品がコンピューターに対して安全かどうかわからない場合は、製品にアルコール、アセトン、塩化アンモニウム、塩化メチレン、炭化水素などが含まれていないかどうか確認します。

ペーパー タオルなどの繊維素材を使用すると、コンピューターに傷が付く可能性があります。時間がたつにつれて、ほこりの粒子や洗浄剤がその傷の中に入り込んでしまう場合があります。

清掃手順

お使いのコンピューターを安全に清掃するため、このセクションの手順に沿って作業をしてください。

△ **警告！** 感電やコンポーネントの損傷を防ぐため、電源が入っているときにコンピューターを清掃しないでください。

1. コンピューターをシャットダウンします。
2. AC アダプターを取り外します。
3. すべての外付けデバイスを取り外します。

△ **注意：**内部コンポーネントへの損傷を防ぐため、コンピューターに洗浄剤や液体を直接吹きかけないでください。表面から流れ落ちた液体によって、内部のコンポーネントに回復できない損傷を与える可能性があります。

ディスプレイの清掃

ディスプレイは、ノンアルコールのガラス用クリーナーで湿らせた柔らかい布でやさしく拭いてください。コンピューターを閉じる前に、ディスプレイが乾いていることを確認してください。

側面またはカバーの清掃

側面またはカバーを清掃するには、上記のどれかの洗浄液で湿らせた、柔らかいマイクロファイバーのクロスまたはセーム皮を使用するか、条件に合った使い捨てシートを使用してください。

△ **注記：**コンピューターのカバーを清掃する場合は、ごみやほこりを除去するため、円を描くように拭いてください。

タッチパッド、キーボード、またはマウス（一部の製品のみ）の清掃

△ **警告！** 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

△ **注意：**内部のコンポーネントへの損傷を防ぐため、キーとキーの間にクリーナーなどの液体が垂れないようにしてください。

- タッチパッド、キーボード、またはマウスを清掃するには、上記のどれかの洗浄液で湿らせた、柔らかいマイクロファイバーのクロスまたはセーム皮を使用するか、条件に合った使い捨てシートを使用してください。
- キーが固まらないようにするため、また、キーボードからごみや糸くず、細かいほこりを取り除くには、コンピューターの清掃用のプロアー（圧縮空気入りの缶）などを使用してください。

コンピューターの持ち運びまたは送付

コンピューターを持ち運んだり発送したりする必要がある場合は、装置を安全に保持するために以下の点に注意してください。

- お使いのコンピューターを持ち運んだり荷物として送ったりする場合は、以下の手順で準備を行います。
 - 外付けドライブ等に情報をバックアップします。
 - すべてのディスクおよびすべての外付けメディアカード類を取り出します。
 - すべての外付けデバイスを、必要に応じてそれぞれの電源を切ってから取り外します。
 - コンピューターをシャットダウンします。
- バックアップはコンピューターとは別に保管します。
- 飛行機に乗る場合などは、コンピューターを手荷物として持ち運び、他の荷物と一緒に預けないでください。

△ 注意：ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港のベルトコンベアなど機内持ち込み手荷物をチェックするセキュリティ装置は、磁気ではなくX線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

- 機内でコンピューターを使用する場合は、機内のアナウンスを聞いて、コンピューターの使用が許可されている時間を確認してください。機内でのコンピューターの使用を許可するかどうかは航空会社の判断に委ねられます。
- コンピューターまたはドライブを荷物として送る場合は、緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。
- 特定の環境において、無線デバイスの使用が制限されることがあります。たとえば、航空機内、病院内、爆発物付近、および危険区域内です。コンピューターの無線デバイスの使用に適用される規定が不明な場合は、コンピューターの電源を入れる前に、使用可能かどうかを確認して許可を得てください。
- コンピューターを持って国外に移動する場合は、以下のことを行ってください。
 - 行き先の国または地域のコンピューターに関する通関手続きを確認してください。
 - 滞在する国または地域に適応した電源コードを、滞在する国または地域のHP製品販売店で購入してください。電圧、周波数、およびプラグの構成は地域によって異なります。

△ 警告！感電、火災、および装置の損傷などを防ぐため、コンピューターを外部電源に接続するときに、家電製品用に販売されている電圧コンバーターは使用しないでください。

9 バックアップおよび復元

この章には、以下のプロセスに関する情報が含まれています。この章の情報はほとんどの製品で標準的な手順です。

- リカバリ メディアおよびバックアップの作成
- システムの復元および回復

詳しくは、[HP Support Assistant] アプリを参照してください。

- ▲ タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して**[HP Support Assistant]** アプリを選択します。
または
タスクバーにある疑問符のアイコンをクリックします。

 **重要:** タブレットで復元操作を実行する場合、復元プロセスを開始するには、タブレットのバッテリーが最低 70% 充電されている必要があります。

重要: 着脱可能なキーボードまたはキーボード ドックを使用している場合は、復元プロセスを開始する前にキーボードまたはキーボード ドックをタブレットに取り付けてください。

リカバリ メディアおよびバックアップの作成

リカバリ メディアおよびバックアップを作成するための以下の方法は、一部の製品でのみ使用可能です。お使いのコンピューターのモデルに応じた使用可能な方法を選択してください。

- コンピューターを正常にセットアップしたら、[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) を使用して[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを作成します。この手順を実行すると、コンピューターに HP 復元用パーティションのバックアップが作成されます。バックアップは、ハードドライブが破損したり交換されたりした場合に、元のオペレーティングシステムの再インストールに使用できます。リカバリ メディアの作成について詳しくは、[57 ページの\[HP Recovery\] \(HP リカバリ\) メディアの作成 \(一部の製品のみ\)](#) を参照してください。リカバリ メディアを使用して設定できるリカバリ オプションについて詳しくは、[58 ページの Windows ツールの使用](#) を参照してください。
- Windows ツールを使用してシステムの復元ポイントを作成し、個人情報のバックアップを作成します。

詳しくは、[59 ページの\[HP Recovery Manager\] \(HP リカバリ マネージャー\) を使用した復元](#) を参照してください。

 **注記:** ストレージが 32 GB 以下の場合、Microsoft の[システムの復元]は、初期設定で無効に設定されている場合があります。

[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアの作成 (一部の製品のみ)

可能であれば、復元用パーティションおよび Windows のパーティションがあることを確認します。
[スタート]メニューで、[エクスプローラー]→[PC]の順に選択します。

- お使いのコンピューターに Windows のパーティションおよび復元用パーティションが表示されない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせのうえ、お使いのシステムのリカバリ メディアを入手できます。日本のサポート窓口については、日本向けの日本語モデル製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されています。また、HP の Web サイトで HP のサポート窓口を検索することもできます。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/support/> を参照してください。日本以外の国や地域については、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。

Windows ツールを使用してシステムの復元ポイントを作成し、個人情報のバックアップを作成できます。[58 ページの Windows ツールの使用](#)を参照してください。

- お使いのコンピューターに復元用パーティションおよび Windows のパーティションが表示されない場合は、[HP Recovery manager] (HP リカバリ マネージャー) を使用して、コンピューターを正常にセットアップした後、リカバリ メディアを作成できます。[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを使用すると、ハードドライブが破損した場合にシステムの復元を実行できます。システムの復元を実行すると、元のオペレーティングシステムおよび工場出荷時にインストールされていたソフトウェアプログラムが再インストールされ、それらのプログラムの設定内容が再構築されます。[HP Recovery] メディアは、システムのカスタマイズや、ハードドライブを交換する場合の工場出荷時のイメージの復元にも使用できます。
 - リカバリ メディアは 1 セットのみ作成できます。リカバリ ディスクは慎重に取り扱い、安全な場所に保管してください。
 - [HP Recovery Manager] はコンピューターを検査して、メディアの容量がどれだけ必要かを判断します。
 - リカバリ ディスクを作成するには、コンピューターに DVD の書き込み機能を備えたオプティカル ドライブが搭載されている必要があります。高品質で空の DVD-R、DVD+R、DVD-R DL、または DVD+R DL ディスクを使用する必要があります。CD±RW、DVD±RW、2 層記録 DVD ±RW、または BD-RE (再書き込みが可能なブルーレイ) ディスクなどのような書き換え可能なディスクは使用しないでください。これらのディスクは、[HP Recovery Manager] ソフトウェアに対応していません。または、高品質で空の USB フラッシュ ドライブを代わりに使用することもできます。
 - DVD 書き込み機能に対応したオプティカル ドライブが搭載されていないコンピューターで DVD リカバリ メディアを使用する場合は、外付けオプティカル ドライブ (別売) を利用してください。外付けのオプティカル ドライブを使用する場合は、コンピューターの USB ポートに直接接続する必要があります。ドライブを、USB ハブなどの外付けのデバイスの USB ポートに接続することはできません。DVD メディアを自分で作成できない場合は、お使いのコンピューターに適したリカバリ ディスクを HP から入手できます。日本のサポート窓口については、日本向けの日本語モデル製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されています。また、HP の Web サイトで HP のサポート窓口を検索することもできます。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/support/> を参照してください。日本以外の国や地域については、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。
 - コンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、リカバリ メディアの作成を開始してください。

- 作成処理には 1 時間以上かかる場合があります。作成処理を中断しないでください。
- 必要に応じて、すべてのリカバリ DVD の作成が完了する前に、プログラムを終了させることができます。[HP Recovery Manager] は、現在の DVD への書き込みを終了します。次回[HP Recovery Manager]を起動すると、続行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

[HP Recovery] メディアを作成するには、以下の操作を行います。

 **重要:** 着脱可能なキーボードまたはキーボード ドックを使用している場合は、以下の手順を開始する前にキーボードまたはキーボード ドックをタブレットに取り付けてください。

1. タスクバーの検索ボックスで「recovery」と入力して、[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) を選択します。
2. [リカバリ メディアの作成]を選択し、画面の説明に沿って操作します。

システムの復元が必要になった場合は、[59 ページの\[HP Recovery Manager\] \(HP リカバリ マネージャー\) を使用した復元](#)を参照してください。

Windows ツールの使用

Windows ツールを使用して、リカバリメディア、システムの復元ポイント、および個人情報のバックアップを作成できます。

 **注記:** ストレージが 32 GB 以下の場合、Microsoft の[システムの復元]は、初期設定で無効に設定されている場合があります。

詳しい情報および手順については、[はじめに]アプリを参照してください。

- ▲ [スタート]ボタンを選択して、[はじめに]アプリを選択します。

復元

システムを復元するための、いくつかのオプションがあります。状況および専門知識のレベルに最適な方法を選択してください。

 **重要:** すべての方法がすべての製品で使用できるとは限りません。

- Windows には、バックアップから復元したり、コンピューターを更新したり、コンピューターを元の状態にリセットしたりするための複数のオプションが用意されています。詳しい情報については、[はじめに]アプリを参照してください。
 - ▲ [スタート]ボタンを選択して、[はじめに]アプリを選択します。
- プリインストールされているアプリケーションまたはドライバーの問題を修正する必要がある場合は、[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) の[ドライバーやアプリケーションを再インストールします]オプション（一部の製品のみ）を使用して各アプリケーションまたはドライバーを再インストールします。
 - ▲ タスクバーの検索ボックスで「recovery」と入力して、[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) → [ドライバーやアプリケーションを再インストールします]の順に選択し、画面の説明に沿って操作します。

- Windows パーティションを工場出荷時のコンテンツに復元したい場合は、HP 復元用パーティション（一部の製品のみ）の[システムの復元]オプションを選択するか、または[HP Recovery]メディアを使用できます。詳しくは、[59 ページの\[HP Recovery Manager\] \(HP リカバリ マネージャー\) を使用した復元](#)を参照してください。まだリカバリ メディアを作成していない場合は、[57 ページの\[HP Recovery\] \(HP リカバリ\) メディアの作成（一部の製品のみ）](#)を参照してください。
- 一部の製品では、コンピューターの工場出荷時のパーティションおよびコンテンツを復元したい場合や、ハードドライブを交換した場合に、[HP Recovery]メディアの[ファクトリリセット]オプションを使用できます。詳しくは、[59 ページの\[HP Recovery Manager\] \(HP リカバリ マネージャー\) を使用した復元](#)を参照してください。
- 一部の製品では、復元用パーティションを削除してハードドライブの空き領域を増やせるよう、[HP Recovery Manager]に[復元用パーティションの削除]オプションが用意されています。詳しくは、[62 ページの HP 復元用パーティションの削除（一部の製品のみ）](#)を参照してください。

[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) を使用した復元

[HP Recovery Manager]ソフトウェアでは、作成するか、または HP から入手した[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを使用するか、HP 復元用パーティション（一部の製品のみ）を使用することによって、コンピューターを元の工場出荷時の状態に復元できます。まだリカバリ メディアを作成していない場合は、[57 ページの\[HP Recovery\] \(HP リカバリ\) メディアの作成（一部の製品のみ）](#)を参照してください。

開始する前に確認しておくべきこと

- [HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) では、出荷時にインストールされていたソフトウェアのみが復元されます。このコンピューターに付属していないソフトウェアは、製造元の Web サイトからダウンロードするかまたは製造元から提供されたメディアから再インストールする必要があります。
-  **重要：**[HP Recovery Manager]を使用した復元は、コンピューターの問題を修正するための最後の手段として試みてください。
- コンピューターのハードドライブに障害が発生した場合は、[HP Recovery]メディアを使用する必要があります。まだリカバリ メディアを作成していない場合は、[57 ページの\[HP Recovery\] \(HP リカバリ\) メディアの作成（一部の製品のみ）](#)を参照してください。
 - [ファクトリリセット]オプション（一部の製品のみ）を使用するには、[HP Recovery]メディアを使用する必要があります。まだリカバリ メディアを作成していない場合は、[57 ページの\[HP Recovery\] \(HP リカバリ\) メディアの作成（一部の製品のみ）](#)を参照してください。
 - お使いのコンピューターで[HP Recovery]メディアの作成が許可されていない場合や、[HP Recovery]メディアが動作しない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせのうえ、お使いのシステムのリカバリ メディアを入手できます。日本のサポート窓口については、日本向けの日本語モデル製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されています。また、HP の Web サイトから HP のサポート窓口を検索することもできます。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/support/> を参照してください。日本以外の国や地域については、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。

 **重要：**[HP Recovery Manager]では、ユーザーが作成したデータなどのバックアップ機能は提供されません。復元を開始する前に、保持する個人データをバックアップしてください。

[HP Recovery] メディアを使用して、以下の復元オプションのどちらかを選択できます。

 **注記：**復元プロセスを開始すると、お使いのコンピューターで使用可能なオプションのみが表示されます。

- システムの復元：初期状態のオペレーティングシステムを再インストールし、工場出荷時にインストールされていたプログラムの設定を再構築します。
- ファクトリリセット：ハードドライブの全情報を消去してパーティションを再作成し、コンピューターを工場出荷時の状態に復元します。その後、工場出荷時にインストールされていたオペレーティングシステムおよびソフトウェアを再インストールします。

HP 復元用パーティション（一部の製品のみ）を使用すると、[システムの復元]を実行できます。

HP 復元用パーティションの使用（一部の製品のみ）

HP 復元用パーティションを使用すると、リカバリディスクまたはリカバリ USB フラッシュドライブなしでシステムの復元を実行できます。このような復元は、ハードドライブがまだ動作している場合にのみ使用できます。

HP 復元用パーティションから[HP Recovery Manager]（HP リカバリマネージャー）を起動するには、以下の操作を行います。

 **重要：**着脱可能なキーボードまたはキーボードドックを使用している場合は、以下の手順を開始する前にキーボードまたはキーボードドックをタブレットに取り付けてください（一部の製品のみ）。

1. タスクバーの検索ボックスで、「recovery」と入力して、[Recovery Manager]（リカバリマネージャー）→[HP 回復環境]の順に選択します。

または

キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレットの場合、コンピューターの電源を入れるか再起動してすぐに **f11** キーを押すか、または電源ボタンを押すときに **f11** キーを押したままにします。

キーボードが取り付けられていないタブレットの場合：

タブレットの電源を入れるか再起動してすぐに音量上げボタンを押したままにします。次に、**[f11]**を選択します。

または

タブレットの電源を入れるか再起動してすぐに音量下げボタンを押したままにします。次に、**[f11]**を選択します。

または

タブレットの電源を入れるか再起動してすぐに Windows ボタンを押したままにします。次に、**[f11]**を選択します。

2. オプションメニューから[トラブルシューティング]を選択します。

3. [Recovery Manager]（リカバリマネージャー）を選択し、画面の説明に沿って操作します。

[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを使用した復元

[HP Recovery] メディアを使用して、元のシステムを復元できます。この方法は、システムに HP 復元用パーティションが含まれていない場合、またはハードドライブが正常に動作していない場合に使用できます。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. [HP Recovery] メディアを挿入し、コンピューターを再起動します。

 **注記 :** [HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) でコンピューターが自動的に再起動しない場合は、コンピューターのブート順序を変更します。 [61 ページのコンピューターのブート順序の変更](#) を参照してください。

3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

コンピューターのブート順序の変更

お使いのコンピューターが[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) で再起動しない場合は、コンピューターのブート順序を変更できます。これは、コンピューターが起動情報を検索するときに参照する BIOS にあり、デバイスの順番がリストになっています。オプティカル ドライブまたは USB フラッシュ ドライブの選択を変更できます。

ブート順序を変更するには、以下の操作を行います。

 **重要 :** 着脱可能なキーボードまたはキーボード ドックを使用している場合は、以下の手順を開始する前にキーボードまたはキーボード ドックをタブレットに取り付けてください。

1. [HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを挿入します。
2. システムの[スタートアップ]メニューにアクセスします。

キーボードが取り付けられているコンピューターまたはタブレットの場合 :

▲ コンピューターまたはタブレットの電源を入れるか再起動してすぐに `esc` キーを押し、次に `f9` キーを押してブートオプションを表示します。

キーボードが取り付けられていないタブレットの場合 :

▲ タブレットの電源を入れるか再起動してすぐに 音量上げボタンを押したままにします。次に、**[f9]**を選択します。

または

タブレットの電源を入れるか再起動してすぐに 音量下げボタンを押したままにします。次に、**[f9]**を選択します。

または

タブレットの電源を入れるか再起動してすぐに Windows ボタンを押したままにします。次に、**[f9]**を選択します。

3. 起動したいオプティカル ドライブまたは USB フラッシュ ドライブを選択します。
4. 画面に表示される説明に沿って操作します。

HP 復元用パーティションの削除（一部の製品のみ）

[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) ソフトウェアを使用すると、HP 復元用パーティションを削除して、ハードドライブの空き領域を増やせます。

 **重要：**HP 復元用パーティションを削除した後は、[システムの復元]を実行したり、HP 復元用パーティションから[HP Recovery] (HP リカバリ) メディアを作成したりすることができなくなります。このため、復元用パーティションを削除する前に、[HP Recovery]メディアを作成します。[57 ページの\[HP Recovery\] \(HP リカバリ\) メディアの作成（一部の製品のみ）](#) を参照してください。

 **注記：**[復元用パーティションの削除]オプションは、この機能をサポートする製品でのみ使用可能です。

HP 復元用パーティションを削除するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで「recovery」と入力して、**[HP Recovery Manager]** (HP リカバリ マネージャー) を選択します。
2. **[復元用パーティションの削除]**を選択し、画面の説明に沿って操作します。

10 [Computer Setup] (BIOS)、TPM、および[HP Sure Start]

[Computer Setup]の使用

BIOS (Basic Input/Output System) とも呼ばれる[Computer Setup]は、システム上のすべての入出力デバイス（ディスク ドライブ、ディスプレイ、キーボード、マウス、プリンターなど）間で行われる通信を制御します。[Computer Setup]を使用すると、取り付けるデバイスの種類、コンピューターの起動順序、およびシステム メモリと拡張メモリの容量を設定できます。

 **注記 :** [Computer Setup]で設定変更を行う場合は、細心の注意を払ってください。設定を誤ると、コンピューターが正しく動作しなくなる可能性があります。

[Computer Setup]の開始

 **注記 :** [Computer Setup]では、USB レガシーサポート機能が有効な場合にのみ、USB ポートに接続された外付けキーボードまたはマウスを使用できます。

- ▲ コンピューターの電源を入れるか再起動し、HP のロゴが表示されたら **f10** キーを押して [Computer Setup]を起動します。

[Computer Setup]での移動および選択

- メニューまたはメニュー項目を選択するには、ポインティング デバイスを使用して項目を選択するか、キーボードの **tab** キーや矢印キーを使用して項目を移動してから **enter** キーを押します。
- 画面を上下にスクロールするには、ポインティング デバイスを使用して画面の右上隅にある上向き矢印または下向き矢印を選択するか、キーボードの上向き矢印キーまたは下向き矢印キーを使用します。
- 開いているダイアログ ボックスを閉じて[Computer Setup]のメイン画面に戻るには、**esc** キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

[Computer Setup]のメニューを終了するには、以下のどれかの方法を選択します。

- 変更を保存しないで[Computer Setup]メニューを終了するには、以下の操作を行います。
画面の右下隅にある**終了**アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。
または
[Main] (メイン) →**[Ignore Changes and Exit]** (変更を無視して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。
- 変更を保存して[Computer Setup]メニューを終了するには、以下の操作を行います。
画面の右下隅にある**Save** (保存) アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。
または
[Main] →**[Save Changes and Exit]** (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

[Computer Setup]の工場出荷時設定の復元

 **注記 :** 初期設定を復元しても、ハードドライブのモードには影響ありません。

[Computer Setup]のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、以下の操作を行います。

1. [Computer Setup]を開始します。 [63 ページの\[Computer Setup\]の開始](#) を参照してください。
2. [Main] (メイン) → [Apply Factory Defaults and Exit] (初期設定を適用して終了) の順に選択します。

 **注記 :** 一部の製品では、選択項目に [Apply Factory Defaults and Exit] ではなく [Restore Defaults] (初期設定に復元) が表示される場合があります。

3. 画面の説明に沿って操作します。
4. 変更を保存して終了するには、画面の右下隅にある [Save] (保存) アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

または

[Main] → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、 **enter** キーを押します。

変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

 **注記 :** 上記の手順で工場出荷時の設定を復元しても、パスワードおよびセキュリティの設定は変更されません。

BIOS の更新

HP の Web サイトから、更新されたバージョンの BIOS (BIOS 更新プログラム) を入手できる場合があります。

HP の Web サイトでは、多くの BIOS 更新プログラムが「SoftPaq」という圧縮ファイル形式で提供されています。

一部のダウンロードパッケージには、そのパッケージのインストールやトラブルの解決方法に関する情報が記載された Readme.txt ファイルが含まれます。

BIOS のバージョンの確認

[Computer Setup] (BIOS) を更新する必要があるかどうかを判断するには、まずコンピューターの BIOS バージョンを確認します。

BIOS のバージョン情報 (ROM 日付またはシステム BIOS とも呼ばれます) にアクセスするには、 **fn + esc** キーを押す (Windows を起動している場合) か、または [Computer Setup] を使用します。

1. [Computer Setup]を開始します。 [63 ページの\[Computer Setup\]の開始](#) を参照してください。
2. [メイン] → [システム情報] の順に選択します。
3. 変更を保存しないで [Computer Setup] を終了するには、画面の右下隅にある [終了] アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

または

[メイン] → [変更を無視して終了] の順に選択し、 **enter** キーを押します。

より新しいバージョンの BIOS があるかどうかを確認するには、[65 ページの BIOS 更新プログラムのダウンロード](#)を参照してください。

BIOS 更新プログラムのダウンロード

⚠ **注意：**コンピューターの損傷やインストールの失敗を防ぐため、BIOS 更新プログラムのダウンロードおよびインストールを実行するときは必ず、AC アダプターを使用して信頼性の高い外部電源にコンピューターを接続してください。コンピューターがバッテリ電源で動作しているとき、別売のドッキングデバイスに接続されているとき、または別売の電源装置に接続されているときは、BIOS 更新プログラムをダウンロードまたはインストールしないでください。ダウンロードおよびインストール時は、以下の点に注意してください。

- 電源コンセントからコンピューターの電源コードを抜かないでください。外部からの電源供給を遮断しないでください。
- コンピューターをシャットダウンしたり、スリープや休止状態を開始したりしないでください。
- ケーブルやコード類の抜き差しおよびデバイスの着脱は行わないでください。

1. タスクバーの検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant]アプリを選択します。またはタスクバーにある疑問符のアイコンを選択します。
2. [更新]→[更新およびメッセージを確認]の順に選択します。
3. 画面の説明に沿って操作します。
4. ダウンロードエリアで、以下の操作を行います。

📝 **注記：**操作手順は提供されているパッケージによって異なる場合があります。画面に表示される説明をお読みください。

- a. 最新の BIOS 更新プログラムを確認し、お使いのコンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンと比較します。日付や名前、またはその他の、ファイルを識別するための情報をメモしておきます。後で、ハードドライブにダウンロードした更新プログラムを探すときにこの情報が必要になる場合があります。
- b. 画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハードドライブにダウンロードします。BIOS 更新プログラムをダウンロードする場所へのパスのメモを取っておきます。このパスは、更新プログラムをインストールするときに必要です。

📝 **注記：**コンピューターが職場や学校などで管理されているネットワークに接続されている場合は、ソフトウェア更新プログラム（特にシステム BIOS 更新プログラム）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

ダウンロードした BIOS によってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される説明に沿って操作します。説明が表示されない場合は、以下の操作を行います。

1. タスクバーの検索ボックスで「エクスプローラー」と入力して[エクスプローラー]を選択します。
2. ハードドライブを選択します。通常は、[ローカルディスク (C:)]を指定します。
3. BIOS ソフトウェアをダウンロードしたときのメモを参照するなどして、更新ファイルが保存されているフォルダーを開きます。

4. 更新ファイルをダブルクリックします。
BIOS のインストールが開始されます。
5. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

 **注記：**インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

[f9]の画面を使用したブート順序の変更

現在の起動でブートデバイスを動的に選択するには、以下の操作を行います。

1. ブートデバイスオプションメニューにアクセスします。
 - コンピューターの電源を入れるか再起動し、HP のロゴが表示されたら **f9** キーを押してブートデバイスオプションメニューに入ります。
2. ブートデバイスを選択して、**enter** キーを押します。

TPM BIOS の設定（一部の製品のみ）

 **重要：**TPM (Trusted Platform Module) 機能をこのシステムで有効にする前に、TPM の使用目的が、お住まいの地域の関連法、規制、および政令を遵守していることを確認する必要があります。また、該当する場合は、許可またはライセンスをお客様が取得する必要があります。お客様が上述の要件に違反して TPM を操作/使用したことにより法令等の遵守に関する問題が発生した場合、すべての責任はお客様が単独で完全に負うものとします。HP は、関連する責任を一切負いません。

TPM は、お使いのコンピューターのセキュリティを強化します。TPM 設定は[Computer Setup] (BIOS) で変更できます。

 **注記：**TPM の設定を[Hidden]に変更すると、TPM はオペレーティングシステムでは表示されません。

[Computer Setup]で TPM の設定値にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. [Computer Setup]を開始します。[63 ページの\[Computer Setup\]の開始](#)を参照してください。
2. [Security] (セキュリティ) → [TPM Embedded Security] (TPM 内蔵セキュリティ) の順に選択し、画面の説明に沿って操作します。

[HP Sure Start]の使用（一部の製品のみ）

一部のコンピューター モデルでは、[HP Sure Start]が構成されています。[HP Sure Start]は、攻撃または破損がないか確認するためにコンピューターの BIOS を監視する技術です。BIOS が破損したか攻撃された場合、[HP Sure Start]はユーザーが介入することなく自動的に BIOS を以前の安全な状態に復元します。

[HP Sure Start]はあらかじめ構成され、有効になっているため、ほとんどのユーザーは、[HP Sure Start] の初期設定の構成を使用できます。詳しい知識があるユーザーは、初期設定の構成をカスタマイズできます。

[HP Sure Start]の最新のドキュメントについては、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして**製品の検索**を選択し、画面の説明に沿って操作します。

11 [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の使用

[HP PC Hardware Diagnostics] (HP PC ハードウェア診断) は UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) であり、診断テストを実行して、コンピューターのハードウェアが正常に動作しているかどうかを確認できます。このツールはオペレーティングシステムの外で実行されるため、オペレーティングシステムまたはその他のソフトウェアコンポーネントが原因で発生する可能性のある問題からハードウェア障害を分離できます。

ハードウェアの交換が必要な障害が[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) で検出された場合、24 桁の障害 ID コードが生成されます。この ID コードは HP のサポートでの問題の解決に役立てるできます。

 **注記 :** モードの変更が可能なコンピューターで診断を開始するには、お使いのコンピューターをノートブックモードにして、コンピューターに取り付けられているキーボードを使用する必要があります。

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) を起動するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるかコンピューターを再起動してすぐに `esc` キーを押します。
2. `f2` キーを押します。

BIOS は、以下の順序で 3 か所から診断ツールを検索します。

- a. 接続されている USB ドライブ

 **注記 :** [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) ツールを USB ドライブにダウンロードするには、[68 ページの\[HP PC Hardware Diagnostics\] \(UEFI\) の USB デバイスへのダウンロード](#)を参照してください。

- b. ハードドライブ
- c. BIOS

3. 診断ツールが開いたら、実行する診断テストの種類を選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

 **注記 :** 診断テストを停止する必要がある場合は、`esc` キーを押します。

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の USB デバイスへのダウンロード

 **注記 :** [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) のダウンロードの説明は、英語でのみ提供されています。また、.exe ファイルのみが提供されているため、Windows コンピューターを使用して、[HP UEFI Support Environment] (HP UEFI サポート環境) をダウンロードおよび構築する必要があります。

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) を USB デバイスにダウンロードするには、以下の 2 つの方法があります。

UEFI の最新バージョンをダウンロードする

1. HP の Web サイト、<http://www8.hp.com/jp/ja/campaigns/hpsupportassistant/pc-diags.html> にアクセスします。[HP PC Hardware Diagnostics] のホーム ページが表示されます。
2. [HP PC Hardware Diagnostics 3-in-1 USB メモリ] セクションの【ダウンロード (3-in-1 USB メモリ v.x.x.x)】(「x.x.x」はバージョン番号) リンクを選択し、【保存】を選択して USB デバイスに保存します。

特定の製品向けの任意のバージョンの UEFI をダウンロードする

1. HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスします。
2. [ソフトウェアとドライバー] または [ソフトウェア/ドライバー] を選択します。
3. 製品の名前または番号を入力します。

または

【検出を開始】を選択して、お使いの製品が自動検出されるようにします。

 **注記 :** 【製品の自動検出を行う】で製品を自動検出させるには、自動検出プログラムの最新版または追加ファイルをインストールする必要がある場合があります。

4. お使いのコンピューターを選択し、オペレーティング システムを選択します。
5. 【診断】セクションで、画面の説明に沿って必要な UEFI バージョンを選択してダウンロードします。

12 仕様

入力電源

ここで説明する電源の情報は、お使いのコンピューターを国外で使用する場合に役立ちます。

コンピューターは、AC 電源または DC 電源から供給される DC 電力で動作します。AC 電源は 100 ~ 240 V (50/60 Hz) の定格に適合している必要があります。コンピューターは単独の DC 電源で動作しますが、コンピューターの電力供給には、このコンピューター用に HP から提供および認可されている AC アダプターまたは DC 電源のみを使用する必要があります。

お使いのコンピューターは、以下の仕様の DC 電力で動作します。

入力電源	定格
動作電圧および電流	19.5 V DC (2.31 A、45 W の場合)
	19.5 V DC (3.33 A、65 W の場合)

 **注記：**この製品は、最低充電量 240 V rms 以下の相対電圧によるノルウェーの IT 電源システム用に設計されています。

 **注記：**コンピューターの動作電圧および動作電流は、システムの規定ラベルに記載されています。

動作環境

項目	国際単位系
温度	
動作時 (オプティカルディスク書き込み中)	5 ~ 35°C
非動作時	-20 ~ 60°C
相対湿度 (結露しないこと)	
動作時	10 ~ 90%
非動作時	5 ~ 95%
最大標高 (非与圧)	
動作時	-15 ~ 3,048 m
非動作時	-15 ~ 12,192 m

13 静電気対策

静電気の放電は、じゅうたんの上を歩いてから金属製のドアノブに触れたときなど、2つのものが接触したときに発生します。

人間の指など、導電体からの静電気の放電によって、システムボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなったりすることがあります。

静電気に弱い部品を取り扱う前に、以下で説明する方法のどれかで身体にたまつた静電気を放電してください。

- 部品などの取り外しまたは取り付けの手順で、コンピューターから電源コードを取り外すように指示されている場合は、まず正しくアース（接地）されていることを確認してください。
- 部品は、コンピューターに取り付ける直前まで静電気防止用のケースに入れておきます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。電子部品に触れる回数をなるべく少なくします。
- 磁気を帯びていない道具を使用します。
- 部品を取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電します。
- 取り外した部品は、静電気防止用のケースに入れておきます。

14 ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせて機能するようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、お使いのデバイスの検索機能を使用してください。

 **注記：**特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイト、または日本向けの日本語モデル製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。

索引

記号/数字

- 1 本指スライド用タッチスクリーンジェスチャ 29
- 2 本指スクロール用タッチパッドジェスチャ 27
- 2 本指タップ用タッチパッドジェスチャ 27
- 2 本指ピンチズーム用タッチパッドおよびタッチスクリーンジェスチャ 27
- 3 本指スワイプ用タッチパッドジェスチャ 28
- 4 本指タップ用タッチパッドジェスチャ 28

B

- BIOS
 - 更新 64
 - 更新プログラムのダウンロード 65
 - バージョンの確認 64
- Bluetooth
 - デバイス 20, 23
 - ラベル 17

C

- Caps Lock ランプ
 - 位置 11
- Computer Setup
 - BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) 43
 - DriveLock パスワード 45
 - 移動および選択 63
 - 工場出荷時設定の復元 64

D

- DriveLock
 - 無効化 47
 - 有効化 46
- DriveLock の master password (マスター パスワード)
 - 変更 47

DriveLock パスワード

- 設定 45
- 説明 45
- 入力 47
- 変更 47

E

- esc キー
 - 位置 14

F

- fn キー
 - 位置 14

G

- GPS 22

H

- HDMI
 - HDMI 出力端子
 - 位置 5, 8
 - 接続 33
 - HD 対応デバイス、接続 33, 34
- HP 3D DriveGuard 52
- HP Client Security 50
- HP Mobile Connect 22
- HP PC Hardware Diagnostics (UEFI)
 - 使用 67
- [HP Recovery] (HP リカバリ) メディア
 - 作成 57
 - 復元 61
- HP Recovery Manager
 - 起動 60
 - ブートの問題の修正 61
- HP Sure Start
 - 使用 66
- HP Touchpoint Manager 50
- HP が提供する資料 2
- HP 復元用パーティション
 - 削除 62
 - 復元 60

M

- Miracast 34

N

- num lk キー、位置 29
- Num Lock ランプ 11

R

- RJ-45 (ネットワーク) コネクタ
 - 位置 5
- RJ-45 (ネットワーク) ランプ、位置 5

S

- SIM カード
 - 装着 18
- SIM カードスロット、位置 16
- SIM カードヒンジコネクタ、位置 16

T

- TPM 設定 66

U

- USB 2.0 ポート (電源オフ USB チャージ機能対応)、位置 7
- USB 3.0 ポート 5, 8
- USB Type-C ポート (電源オフ USB チャージ機能対応)、位置 5, 8
- USB ポート、位置 5, 6, 8
- USB レガシー サポート 63

V

- VGA コネクタ、接続 32

W

- Web カメラ 9
 - 位置 9
 - 使用 30
- Web カメラ ランプ
 - 位置 9
- Windows
 - システムの復元ポイント 56, 58

Windows アプリケーションキー

位置 14

Windows キー、位置 14

Windows ツール

使用 58

う

ウィルス対策ソフトウェア 49

お

オーディオ 31

オーディオ出力 (ヘッドフォン) / オーディオ入力 (マイク) コンボ

コネクタ、位置 6, 7

オプティカルドライブ

位置 5

オプティカルドライブ イジェクト ボタン、位置 6

か

書き込み可能メディア 36

各部

ディスプレイ 9

左側面 7

表面 10

右側面 5

裏面 16

完全なロードバッテリ状態 36

管理者パスワード 42

き

キー

esc 14

fn 14

Windows アプリケーション 14

Windows キー 14

キーボードおよび別売のマウス

使用 29

キーボードおよび別売のマウスの

使用 29

企業無線 LAN への接続 21

規定情報

規定ラベル 17

無線認定/認証ラベル 17

機内モードキー 20

休止状態

開始 36

終了 36

こ

公共無線 LAN への接続 21

コネクタ

Miracast 34

RJ-45 (ネットワーク) 5

VGA 32

オーディオ出力 (ヘッドフォン) / オーディオ入力 (マイク)

コンボ 6, 7

外付けモニター 5, 8, 32

電源 5, 8

ネットワーク 5

コンピューター

運搬 55

清掃 53

手入れ 53

電源切断 35

持ち運び 17, 55

さ

サービスラベル、位置 17

最小限のイメージ

復元 60

最小限のイメージ、作成 59

サウンド設定の使用 31

サポートされるディスク、復元 57

し

システムの応答停止 35

システムの復元 59

システムの復元ポイント

作成 58

システムの復元ポイント、作成 56

自動 DriveLock 48

自動 DriveLock パスワード

解除 49

入力 48

指紋認証システム

位置 13, 51

シャットダウン 35

出力端子

HDMI 5, 8, 33

使用

外部電源 40

省電力設定 36

使用、外部電源 40

省電力設定 36

情報の確認

ソフトウェア 4

ハードウェア 4

シリアル番号 17

シリアル番号、コンピューター
17

す

スイッチ、電源 35

スピーカー

位置 12

接続 30

スリープ

開始 36

終了 36

スロット

SIM カード 16

セキュリティロックケーブル 6, 7

せ

静電気対策 70

製品名および製品番号、コンピュー
ター 17

セキュリティロックケーブル用ス
ロット
位置 6, 7

セットアップユーティリティ
移動および選択 63

工場出荷時設定の復元 64

節約、電力 39

そ

外付けモニター コネクタ 5, 8, 32

ソフトウェア

HP 3D DriveGuard 52

ウィルス対策 49

ディスククリーンアップ 52

ディスクデフラグ 52

ファイアウォール 49

ソフトウェア更新プログラム、イン
ストール 50

た

タッチスクリーンジェスチャ
1 本指スライド 29

タッチパッド

使用 26

ボタン 10

- タッチパッドおよびタッチスク
リーンジェスチャ
2本指ピンチズーム 27
タップ 26
- タッチパッドジェスチャ
2本指スクロール 27
2本指タップ 27
3本指スワイプ 28
4本指タップ 28
- タッチパッドゾーン
位置 10
- タッチパッドの使用 26
- タップ用タッチパッドおよびタッ
チスクリーンジェスチャ 26
- つ
- 通気孔
位置 7, 16
- て
- [ディスククリーンアップ]ソフト
ウェア 52
- [ディスクデフラグ]ソフトウェ
ア 52
- テンキー
内蔵テンキー 14
- 電源
オプション 35
節約 39
バッテリ 37
- 電源オプションの設定 35
- 電源コネクタ
位置 5, 8
- 電源スイッチ 35
- 電源ボタン 35
位置 12
- 電源ランプ 11
- と
- 動画 32
- 動作環境 69
- ドライブメディア 36
- ドライブランプ、位置 8
- な
- 内蔵Webカメラランプ
位置 9
- 内蔵テンキー
位置 14, 29
- 内蔵テンキーの使用 29
- 内蔵マイク
位置 9
- に
- 入力電源 69
- ね
- ネットワークコネクタ
位置 5
- は
- ハードドライブ
位置 16
- パスワード
BIOS管理者 43
DriveLock 45
管理者 42
ユーザー 42
- バックアップ 56
- バッテリ
交換 40
充電残量の表示 38
処分 40
節電 39
放電 39
ローバッテリ状態 39
- バッテリ電源 37
- バッテリに関する情報、確認 38
- バッテリランプ 5, 8
- ふ
- ファイアウォールソフトウェア
49
- ブート順序
変更 61
- 復元
[HP Recovery] (HPリカバリ) メ
ディアの使用 58
HP Recovery Manager 59
USBフラッシュドライブ 61
オプション 58
起動 60
サポートされるディスク 57
システム 59
ディスク 57, 61
メディア 61
- 復元用パーティション
削除 62
- 復帰時のパスワード保護の設定
37
- プログラムおよびドライバーの更
新 53
- へ
- ヘッドセット、接続 31
- ヘッドフォン、接続 30
- ほ
- ポート
USB 6
USB 2.0 (電源オフUSBチャージ
機能対応) 7
USB Type-C (電源オフUSB
チャージ機能対応) 5, 8
- ボタン
オプティカルドライブのイ
ジェクト 6
電源 12, 35
左のタッチパッド 10
右のタッチパッド 10
- ホットキー
使用 15
マイクのミュート (消音) 15
- ま
- マイクの消音ランプ、位置 11
マイクミュート (消音) キー、位
置 15
- む
- 無線LANアンテナ
位置 9
- 無線LANデバイス 17
- 無線LANへの接続 21
- 無線LANラベル 17
- 無線WANアンテナ、位置 9
- 無線WANデバイス 20, 22
- 無線アンテナ、位置 9
- 無線キー 20
- 無線コントロール
オペレーティングシステム
20
- ボタン 20
- 無線認定/認証ラベル 17
- 無線ネットワーク (無線LAN)
企業無線LANへの接続 21
公共無線LANへの接続 21

- 接続 21
動作範囲 21
無線ボタン 20
無線ランプ 11, 20
- め**
メディアカード 36
メディアカードスロット、位置 8
メモリモジュール
位置 16
メンテナンス
HP 3D DriveGuard 52
ディスククリーンアップ 52
ディスクデフラグ 52
プログラムおよびドライバーの
更新 53
- も**
元のシステムの復元 59
- ゆ**
ユーザー サポート 71
ユーザー パスワード 42
- よ**
読み取り可能メディア 36
- ら**
ラベル
Bluetooth 17
規定 17
サービス 17
シリアル番号 17
無線 LAN 17
無線認定/認証 17
- ランプ
Caps Lock 11
Num Lock 11
RJ-45 (ネットワーク) 5
Web カメラ 9
電源 11
ハードドライブ 8
バッテリ 5, 8
マイクの消音 11
無線 11
- り**
リカバリ メディア
[HP Recovery Manager]を使用し
た作成 58
作成 57
裏面 17
- れ**
レガシー サポート、USB 63
- ろ**
ローバッテリ状態 39